SORAEPUB / PUBLIC BETA GUIDE

SoraEPUB
対応注記 完全リファレンス

構文を調べ、入力と縦書きの仕上がりを見比べる。現行パーサーから整理した、132項目の実装対応ガイド。

公開ベータ 0.9.0 ｜ 2026.11.28更新

目次

1. 使い方
2. 構文・範囲と入れ子
3. 分類別索引
4. ルビ
5. 傍点
6. 傍線
7. 文字装飾
8. 文字サイズ
9. 見出し・構造
10. 配置
11. 割り注・訓点
12. 画像
13. 外字・特殊文字
14. 校訂
15. 脚注・文末注
16. リスト・表
17. リンク・参照
18. アクセント全対応表
19. JIS面区点
20. 未対応と制約
21. 出典と確認環境

入力と表示を、並べて確かめる

> 注記の名前だけでなく、構文・別名・数値指定・開始と終了を、実際の変換結果で調べられます。

スマートフォンでは上の「目次」を開いて移動し、追従する検索欄で注記を絞り込めます。入力例と表示結果は縦に並び、図版をタップすると拡大します。操作マニュアルも同じ目次操作で読めます。

現行パーサーのインライン装飾と構造ブロック、変換、CSS、テストを照合した132項目を収録しています。別名・左右・文字サイズ・見出しレベルを分け、数値や文字コードの無限の組合せは受理文法として説明します。アクセント分解114対応とJIS標準表11,233位置は別表から参照できます。

各項目の入力例は実Rustコアに通し、生成されたEPUBから取り出したXHTMLとbook.cssをChromeで表示しました。画像は実際の描画結果であり、想像図や横書き画像の回転ではありません。本文サイズ24px・閲覧領域960×620px、明朝優先の出力CSSで撮影し、余白だけをトリミングしています。

表示例について 縦書きの親文書には実出力のwriting-mode:vertical-rlを使用します。横組み、画像ページ、キャプション、表は実装どおり横組みになります。画像項目には縦書き本文と実際の画像ページを併載。改ページは共通プレビュー分割処理による次ページ、章・見出し・注は実際のEPUB目次も併載します。項目ごとのEPUBと原稿も同梱しています。

すべての注記に共通する読み方

文字・行・独立行を区別する

形式	指定方法	適用範囲
開始／終了型の文字装飾	［＃太字］本文［＃太字終わり］	間にある表示文字。ここから／ここでの長い形式も使用可。文書の装飾は行をまたいで継続できます。
前方参照	本文［＃「本文」に傍点］	注記より前の同じ行の表示文字から最後に一致する箇所。「に」「は」、左／右の指定も各項目の別形式を参照。
1行の配置	［＃2字下げ］本文	行頭からその行だけ。次行へ継続しません。
複数行の配置	［＃ここから2字下げ］…［＃ここで字下げ終わり］	開始・終了をそれぞれ独立した行に置き、間の段落を囲みます。
構造マーカー	［＃章：第一章］、［＃改ページ］等	原則単独行。本文中へ混ぜると同じ機能になりません。

対象文字列とルビ

「青空《あおぞら》」へ傍点や左ルビを付ける場合、対象には表示する親文字「青空」を指定し、読みの記号を含めません。同じ行に対象が二度あれば、最後の一致が対象です。未解決注記の内部や校訂注記全文の中を前方参照で選びません。

終了注記の対応

通常の文字装飾では「終わり」と「終り」の両方を受理します。傍点・傍線は形状と側も対応させます。構造配置の終端は単独行の「ここで…終わり」が必要です。字下げの数値は終端へ書かず「字下げ終わり」。サイズの終端も段階を省いて「大きな文字終わり」等を使えます。構造の「終り」は同じ扱いになりません。

大見出しで章分割

初期設定はオフ。オンでは通常の大見出し（h2）ごとにプレビューとEPUBの章ファイルを分け、大見出しも目次へ追加します。中見出しは直前の大見出しの下へ並びます。既存の章注記と併用でき、同行・窓見出しや小見出しでは分割しません。有効時の.soraは内部version 5です。

入れ子と交差の制限

組合せ	現行の扱い

太字・傍点・傍線等の交差	範囲の境界で断片へ分け、文字を二重出力せず装飾を組み合わせます。同一種類の重複は効果の加算を保証しません。
左右両側のルビ	同一の親文字範囲と反対側に限り併用可。同じ側の重複・部分交差は診断して注記を残します。
開始／終了型ルビ	同じ原稿行内で閉じます。対の入れ子・内部ルビの交差等は不可。
割り注	内部に収まる装飾・ルビは使えます。割り注の入れ子やルビとの交差では小文字の通常表示へフォールバック。
同行・窓見出し	重複やルビ・割り注との交差で通常の太字へフォールバック。改行をまたぐ指定は行ごとの表示と診断。
構造配置	入れ子は内側から閉じます。章開始の前に閉じます。例外的な字下げの連続切替は専用項目を参照。
注本文	通常の段落とルビ・装飾に限定。画像、見出し、章、配置、注の入れ子は未対応。
行中の地付き	1行1個。ルビ・割り注・行内見出しが境界をまたぐ形は未対応。地付きの後半内で完結する装飾は使用可。

複数行範囲とリンク

リスト・複数行キャプション・表は開始と終了を独立行に置きます。入れ子・空本文・閉じ忘れ・見出し内部・構造境界越えは不可。範囲内の装飾を閉じ、表ではセルごとに装飾を完結させます。表の区切りは実タブです。参照先IDは本全体で一意。リンクの表示名はルビ等として再解析せず、複雑な範囲重なりは拒否します。詳細は分類「リスト・表」「リンク・参照」を参照してください。

字数・記号・未対応の入力

配置のNは半角・全角の整数0〜65535（字詰め・線の長さは1以上）。サイズだけは一〜六も受理。数値を記す「字」はフォントのemを基準とするため、読書環境の行長より大きい値を指定しても固定ページの寸法にはなりません。

パーサーには、太字・斜体・ゴシック・縦中横・横組み・大小文字・上付き／下付き・囲み等の語を含む注記名から種類を選ぶ互換処理があります。全角読点を含むものはその文字装飾分岐から除かれます。「囲み」「罫」も前方参照で枠の種類へ判定されます。任意の未知の注記を同じ意味として使うことは推奨せず、本書の検証済み構文を使ってください。受理されたことは底本の意味が正しく再現されたことと同義ではありません。

分類別索引

ルビ

範囲を明示するルビ

開始記号を省略するルビ

前方参照ルビ

左ルビ

右を明示するルビ

両側・複合ルビ

左にルビ付き（開始・終了型）

注記付き（開始・終了型）

左に注記付き（開始・終了型）

傍点

傍点

左に傍点

白ゴマ傍点

左に白ゴマ傍点

丸傍点

左に丸傍点

白丸傍点

左に白丸傍点

黒三角傍点

左に黒三角傍点

白三角傍点

左に白三角傍点

二重丸傍点

左に二重丸傍点

蛇の目傍点

左に蛇の目傍点

ばつ傍点

左にばつ傍点

傍線

傍線

左に傍線

二重傍線

左に二重傍線

鎖線

左に鎖線

破線

左に破線

波線

左に波線

文字装飾

太字

斜体

ゴシック

縦中横

行右小書き

行左小書き

上付き小文字

下付き小文字

罫囲み

横組み

文字サイズ

1段階大きな文字

2段階大きな文字

3段階大きな文字

4段階大きな文字

5段階大きな文字

6段階大きな文字

1段階小さな文字

2段階小さな文字

3段階小さな文字

4段階小さな文字

5段階小さな文字

6段階小さな文字

見出し・構造

大見出し

中見出し

小見出し

同行大見出し

同行中見出し

同行小見出し

窓大見出し

窓中見出し

窓小見出し

章・節・項

改ページ

改丁

改見開き

フォームフィードによる改ページ

本文終わり

複数行の大見出し

複数行の中見出し

複数行の小見出し

配置

字下げ

凸凹字下げ

改行天付き

配置の組み合わせ

字詰め

地付き揃え

地付き揃えと字詰め

地付き（行）

地から字上げ（行）

罫囲み（ブロック）

横組み（ブロック）

終了を省略する連続字下げ

左揃え

右揃え

中央揃え

両端揃え

行中の地付き・字上げ

区切り線（実線）

区切り線（破線）

区切り線（点線）

ページの左右中央

割り注・訓点

割り注（自動分割）

割り注の明示改行

返り点

訓点送り仮名

送り仮名と返り点の併記

画像

挿絵・図

説明付き画像

imgタグによる画像参照

画像に付けるキャプション

単独行キャプション

画像を使った章扉

複数行キャプション

外字・特殊文字

Unicode指定の外字

JIS X 0213面区点外字

画像外字

アクセント分解

くの字点（清音）

くの字点（濁音）

ルビ括弧の文字表示

校訂

本文の訂正注記

本文のママ注記

ルビの訂正注記

ルビのママ注記

ルビとして添えるママ

脚注・文末注

脚注

文末注

注参照・再参照

リスト・表

箇条書き

番号付きリスト

表（見出し行なし）

表（先頭行が見出し）

リンク・参照

参照先

本の中への参照

外部リンク

ルビ

001 / ruby-explicit

範囲を明示するルビ

ひらがなを含む語句や、親文字の範囲を確実に指定したいときに使います。

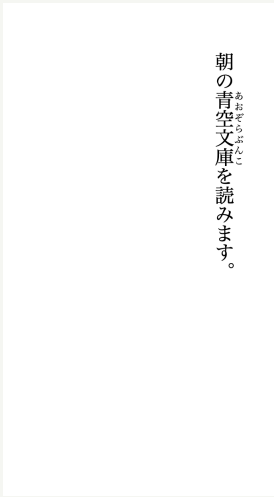
入力例

```
朝の｜青空文庫《あおぞらぶんこ》を読みます。
```

入力構文

```
｜親文字《よみ》 または |親文字《よみ》
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

ruby / rt。標準は ruby-position:over。

縦書き・横書き

縦書きの標準ルビは右側、横書きは上側。

使用上の注意・範囲　｜から《までが親文字。読みは文字列として扱い、内側の注記やHTMLは再解析しません。親文字・読みを同じ行に置きます。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
朝の|青空文庫《あおぞらぶんこ》を読みます。
```

関連：開始記号を省略するルビ ／ 左ルビ ／ 両側・複合ルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline.rs:133

ルビ

002 / ruby-implicit

開始記号を省略するルビ

直前の同じ文字種の連なりに読みを付けます。

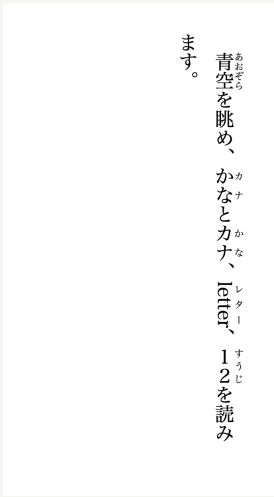
入力例

青空《あおぞら》を眺め、かな《カナ》とカナ《かな》、letter《レター》、１２《すうじ》を読みます。

入力構文

親文字《よみ》

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

ruby / rt。漢字・ひらがな・カタカナ・英字・数字などの文字種境界を使って親文字を決めます。 ギリシャ文字・ヘブライ文字も文字種ごとに対応。？？！！＋＋とℵ〜ד は直前1字のみ。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 混在語には｜を推奨。直前のルビ・訓点・行中地付きの境界を越えません。句読点などをまたいで推測しません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

γ《ガムマア》とα《アルファ》、אב《アブ》を読みます。

8《エイト》、？《ぎもん》と＋《プラス》です。

関連：範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/ruby.rs:84

ルビ

003 / ruby-target

前方参照ルビ

既に入力した親文字を引用して、読みと側を指定します。

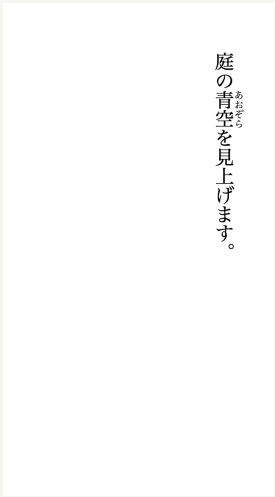
入力例

庭の青空を見上げます。［＃「青空」に「あおぞら」のルビ］

入力構文

親文字［＃「親文字」に「よみ」のルビ］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

ruby / rt。左側指定は class="ruby-under" と ruby-position:under。

縦書き・横書き

縦書きの左は左側。横書きの左指定は下側、右指定と無指定は上側。

使用上の注意・範囲 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 同じ側のルビが重なった場合は注記を残し、診断します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

庭の青空を見上げます。［＃「青空」に「あおぞら」の注記］

関連：両側・複合ルビ ／ 左にルビ付き（開始・終了型）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/ruby.rs:67

ルビ

004 / ruby-left

左ルビ

既に入力した親文字を引用して、読みと側を指定します。

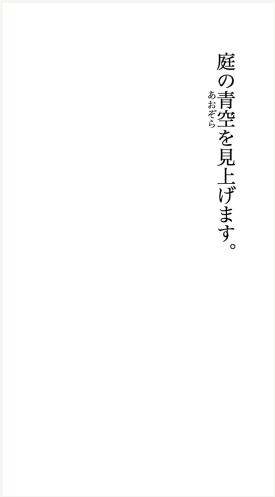
入力例

庭の青空を見上げます。［＃「青空」の左に「あおぞら」のルビ］

入力構文

親文字［＃「親文字」の左に「よみ」のルビ］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

ruby / rt。左側指定は class="ruby-under" と ruby-position:under。

縦書き・横書き

縦書きの左は左側。横書きの左指定は下側、右指定と無指定は上側。

使用上の注意・範囲 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 同じ側のルビが重なった場合は注記を残し、診断します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

庭の青空を見上げます。［＃「青空」の左に「あおぞら」の注記］

関連：両側・複合ルビ ／ 左にルビ付き（開始・終了型）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/ruby.rs:67

ルビ

005 / ruby-right

右を明示するルビ

既に入力した親文字を引用して、読みと側を指定します。

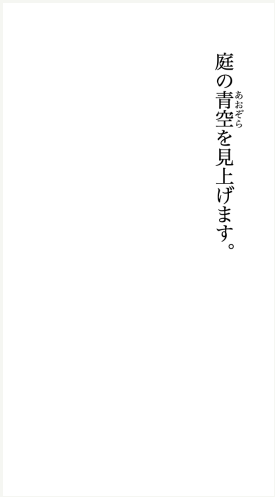
入力例

```
庭の青空を見上げます。［＃「青空」の右に「あおぞら」のルビ］
```

入力構文

```
親文字［＃「親文字」の右に「よみ」のルビ］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

ruby / rt。左側指定は class="ruby-under" と ruby-position:under。

縦書き・横書き

縦書きの左は左側。横書きの左指定は下側、右指定と無指定は上側。

使用上の注意・範囲 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 同じ側のルビが重なった場合は注記を残し、診断します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
庭の青空を見上げます。［＃「青空」の右に「あおぞら」の注記］
```

関連：両側・複合ルビ ／ 左にルビ付き（開始・終了型）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/ruby.rs:67

ルビ

006 / ruby-both

両側・複合ルビ

同じ親文字に左右の読みを添えます。異なる語のルビを続けて書くこともできます。

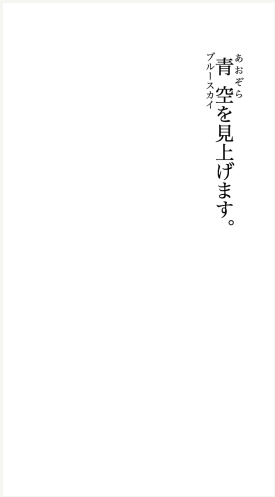
入力例

```
｜青空《あおぞら》［＃「青空」の左に「ブルースカイ」のルビ］を見上げます。
```

入力構文

```
｜青空《あおぞら》［＃「青空」の左に「ブルースカイ」のルビ］を見上げます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

同一範囲・反対側のルビを入れ子のrubyとして出力。

縦書き・横書き

縦書きは左右、横書きは上下。

使用上の注意・範囲 左右の親文字範囲が完全に一致する場合だけ併用できます。部分的な交差・同じ側の二重指定は不可。親文字の中に小さいルビ範囲を入れる形式には対応しません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
山《やま》川《かわ》を渡ります。
```

関連：左ルビ ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/ruby.rs:38

ルビ

007 / ruby-paired-left

左にルビ付き（開始・終了型）

親文字を開始・終了の注記で囲み、終了側で読みを指定します。

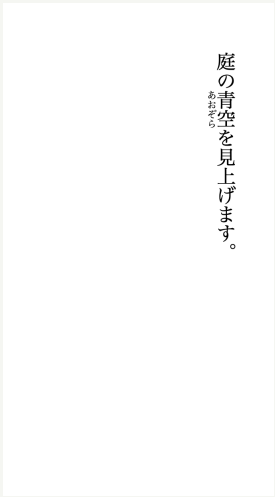
入力例

```
庭の［＃左にルビ付き］青空［＃左に「あおぞら」のルビ付き終わり］を見上げます。
```

入力構文

```
［＃左にルビ付き］親文字［＃左に「よみ」のルビ付き終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

親文字を解析したうえでruby / rtへ変換。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 同じ行の中で完結。開始形式と終了形式を一致させます。読みは空にできず、括弧や注記を含められません。ルビの入れ子は不可。左右を区別し、左開始には終了にも「左に」を付けます。

関連：左ルビ ／ 前方参照ルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/ruby.rs:7

ルビ

008 / ruby-paired-note

注記付き（開始・終了型）

親文字を開始・終了の注記で囲み、終了側で読みを指定します。

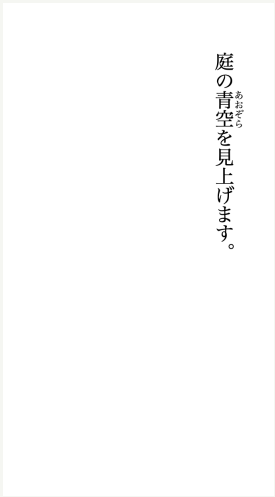
入力例

```
庭の［＃注記付き］青空［＃「あおぞら」の注記付き終わり］を見上げます。
```

入力構文

```
［＃注記付き］親文字［＃「よみ」の注記付き終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

親文字を解析したうえでruby / rtへ変換。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 同じ行の中で完結。開始形式と終了形式を一致させます。読みは空にできず、括弧や注記を含められません。ルビの入れ子は不可。左右を区別し、左開始には終了にも「左に」を付けます。

関連：左ルビ ／ 前方参照ルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/ruby.rs:7

ルビ

009 / ruby-paired-left-note

左に注記付き（開始・終了型）

親文字を開始・終了の注記で囲み、終了側で読みを指定します。

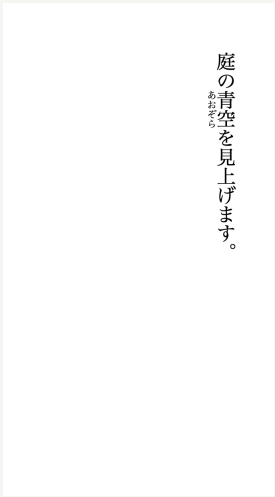
入力例

```
庭の［＃左に注記付き］青空［＃左に「あおぞら」の注記付き終わり］を見上げます。
```

入力構文

```
［＃左に注記付き］親文字［＃左に「よみ」の注記付き終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

親文字を解析したうえでruby / rtへ変換。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 同じ行の中で完結。開始形式と終了形式を一致させます。読みは空にできず、括弧や注記を含められません。ルビの入れ子は不可。左右を区別し、左開始には終了にも「左に」を付けます。

関連：左ルビ ／ 前方参照ルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/ruby.rs:7

傍点

010 / emphasis-0

傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は傍点です。

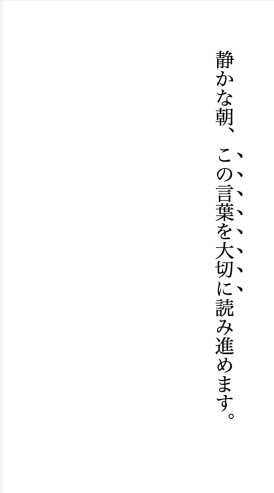
入力例

静かな朝、［＃ここから傍点］この言葉を大切に［＃ここで傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃傍点］対象［＃傍点終わり］／対象［＃「対象」に傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（7例）

- 静かな朝、［＃傍点］この言葉を大切に［＃傍点終わり］読み進めます。
- この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に傍点］読み進めます。
- この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は傍点］読み進めます。
- 静かな朝、［＃ここから傍点］この言葉を大切に［＃ここで傍点終り］読み進めます。
- 言葉［＃「言葉」の右に傍点］を読みます。
- ［＃ゴマ傍点］言葉［＃ゴマ傍点終わり］
- ［＃圏点］言葉［＃圏点終わり］

関連：左に傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

011 / emphasis-0-left

左に傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は傍点です。

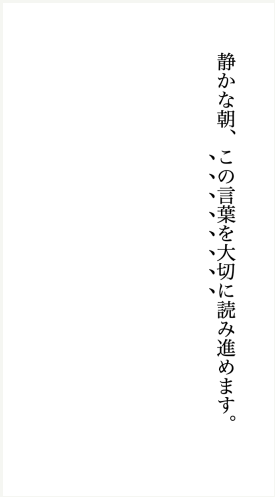
入力例

静かな朝、［＃ここから左に傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に傍点］対象［＃左に傍点終わり］／対象［＃「対象」に左に傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-left。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（7例）

静かな朝、［＃左に傍点］この言葉を大切に［＃左に傍点終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に傍点］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に傍点］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから左に傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に傍点終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の左に傍点］を読みます。

［＃左にゴマ傍点］言葉［＃左にゴマ傍点終わり］

［＃左に圏点］言葉［＃左に圏点終わり］

関連：傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

012 / emphasis-1

白ゴマ傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は白ゴマ傍点です。

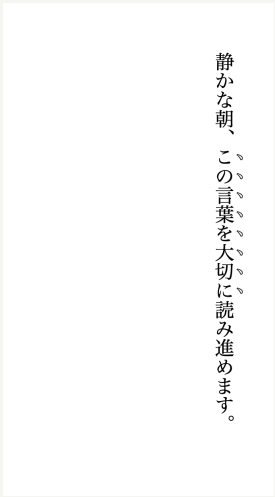
入力例

静かな朝、［＃ここから白ゴマ傍点］この言葉を大切に［＃ここで白ゴマ傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃白ゴマ傍点］対象［＃白ゴマ傍点終わり］／対象［＃「対象」に白ゴマ傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-open-sesame。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃白ゴマ傍点］この言葉を大切に［＃白ゴマ傍点終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に白ゴマ傍点］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は白ゴマ傍点］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから白ゴマ傍点］この言葉を大切に［＃ここで白ゴマ傍点終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に白ゴマ傍点］を読みます。

関連：左に白ゴマ傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

013 / emphasis-1-left

左に白ゴマ傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は白ゴマ傍点です。

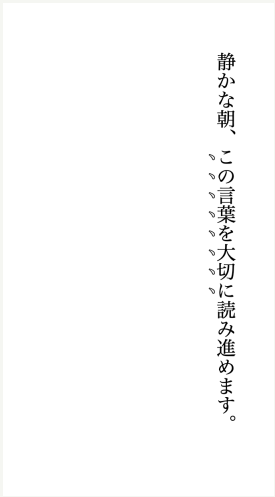
入力例

静かな朝、［＃ここから左に白ゴマ傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に白ゴマ傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に白ゴマ傍点］対象［＃左に白ゴマ傍点終わり］／対象［＃「対象」に左に白ゴマ傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-open-sesame.emphasis-left。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

- 静かな朝、［＃左に白ゴマ傍点］この言葉を大切に［＃左に白ゴマ傍点終わり］読み進めます。
- この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に白ゴマ傍点］読み進めます。
- この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に白ゴマ傍点］読み進めます。
- 静かな朝、［＃ここから左に白ゴマ傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に白ゴマ傍点終り］読み進めます。
- 言葉［＃「言葉」の左に白ゴマ傍点］を読みます。

関連：白ゴマ傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

014 / emphasis-2

丸傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は丸傍点です。

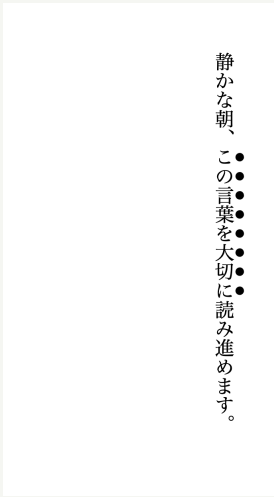
入力例

```
静かな朝、［＃ここから丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで丸傍点終わり］読み進めます。
```

入力構文

```
［＃丸傍点］対象［＃丸傍点終わり］／対象［＃「対象」に丸傍点］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-circle。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

```
静かな朝、［＃丸傍点］この言葉を大切に［＃丸傍点終わり］読み進めます。
この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に丸傍点］読み進めます。
この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は丸傍点］読み進めます。
静かな朝、［＃ここから丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで丸傍点終り］読み進めます。
言葉［＃「言葉」の右に丸傍点］を読みます。
```

関連：左に丸傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

015 / emphasis-2-left

左に丸傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は丸傍点です。

入力例

静かな朝、［＃ここから左に丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に丸傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に丸傍点］対象［＃左に丸傍点終わり］／対象［＃「対象」に左に丸傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-circle.emphasis-left。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃左に丸傍点］この言葉を大切に［＃左に丸傍点終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に丸傍点］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に丸傍点］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから左に丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に丸傍点終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の左に丸傍点］を読みます。

関連：丸傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

016 / emphasis-3

白丸傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は白丸傍点です。

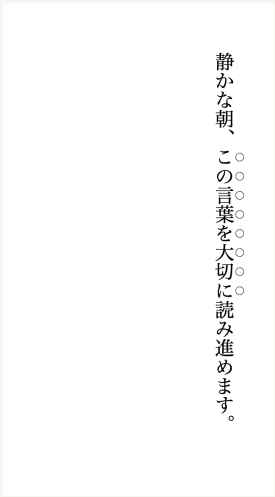
入力例

静かな朝、［＃ここから白丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで白丸傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃白丸傍点］対象［＃白丸傍点終わり］／対象［＃「対象」に白丸傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-open-circle。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃白丸傍点］この言葉を大切に［＃白丸傍点終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に白丸傍点］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は白丸傍点］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから白丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで白丸傍点終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に白丸傍点］を読みます。

関連：左に白丸傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

017 / emphasis-3-left

左に白丸傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は白丸傍点です。

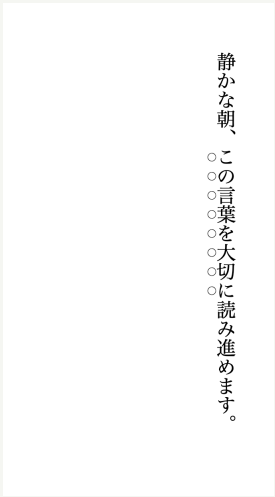
入力例

静かな朝、［＃ここから左に白丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に白丸傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に白丸傍点］対象［＃左に白丸傍点終わり］／対象［＃「対象」に左に白丸傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-open-circle.emphasis-left。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃左に白丸傍点］この言葉を大切に［＃左に白丸傍点終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に白丸傍点］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に白丸傍点］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから左に白丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に白丸傍点終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の左に白丸傍点］を読みます。

関連：白丸傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

018 / emphasis-4

黒三角傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は黒三角傍点です。

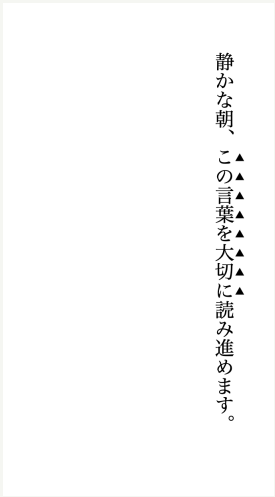
入力例

静かな朝、［＃ここから黒三角傍点］この言葉を大切に［＃ここで黒三角傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃黒三角傍点］対象［＃黒三角傍点終わり］／対象［＃「対象」に黒三角傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-triangle。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃黒三角傍点］この言葉を大切に［＃黒三角傍点終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に黒三角傍点］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は黒三角傍点］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから黒三角傍点］この言葉を大切に［＃ここで黒三角傍点終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に黒三角傍点］を読みます。

関連：左に黒三角傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

019 / emphasis-4-left

左に黒三角傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は黒三角傍点です。

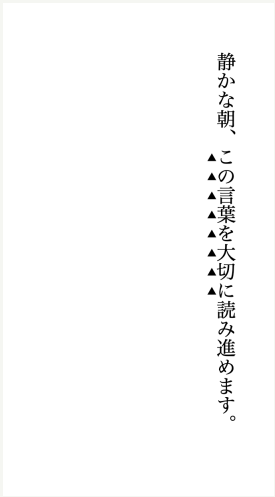
入力例

静かな朝、［＃ここから左に黒三角傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に黒三角傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に黒三角傍点］対象［＃左に黒三角傍点終わり］／対象［＃「対象」に左に黒三角傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-triangle.emphasis-left。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

- 静かな朝、［＃左に黒三角傍点］この言葉を大切に［＃左に黒三角傍点終わり］読み進めます。
- この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に黒三角傍点］読み進めます。
- この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に黒三角傍点］読み進めます。
- 静かな朝、［＃ここから左に黒三角傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に黒三角傍点終り］読み進めます。
- 言葉［＃「言葉」の左に黒三角傍点］を読みます。

関連：黒三角傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

020 / emphasis-5

白三角傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は白三角傍点です。

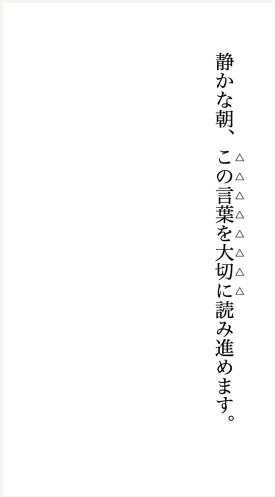
入力例

静かな朝、［＃ここから白三角傍点］この言葉を大切に［＃ここで白三角傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃白三角傍点］対象［＃白三角傍点終わり］／対象［＃「対象」に白三角傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-open-triangle。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃白三角傍点］この言葉を大切に［＃白三角傍点終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に白三角傍点］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は白三角傍点］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから白三角傍点］この言葉を大切に［＃ここで白三角傍点終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に白三角傍点］を読みます。

関連：左に白三角傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

021 / emphasis-5-left

左に白三角傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は白三角傍点です。

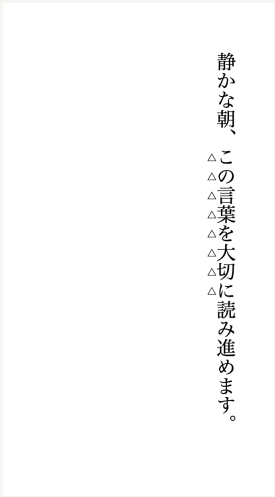
入力例

静かな朝、［＃ここから左に白三角傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に白三角傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に白三角傍点］対象［＃左に白三角傍点終わり］／対象［＃「対象」に左に白三角傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-open-triangle.emphasis-left。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

- 静かな朝、［＃左に白三角傍点］この言葉を大切に［＃左に白三角傍点終わり］読み進めます。
- この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に白三角傍点］読み進めます。
- この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に白三角傍点］読み進めます。
- 静かな朝、［＃ここから左に白三角傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に白三角傍点終り］読み進めます。
- 言葉［＃「言葉」の左に白三角傍点］を読みます。

関連：白三角傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

022 / emphasis-6

二重丸傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は二重丸傍点です。

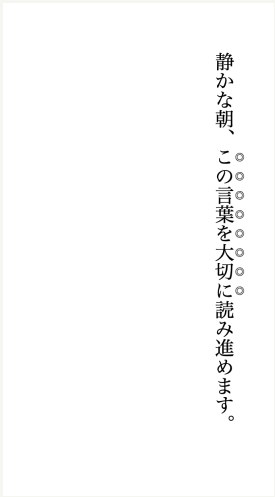
入力例

静かな朝、［＃ここから二重丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで二重丸傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃二重丸傍点］対象［＃二重丸傍点終わり］／対象［＃「対象」に二重丸傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-double-circle。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃二重丸傍点］この言葉を大切に［＃二重丸傍点終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に二重丸傍点］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は二重丸傍点］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから二重丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで二重丸傍点終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に二重丸傍点］を読みます。

関連：左に二重丸傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

023 / emphasis-6-left

左に二重丸傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は二重丸傍点です。

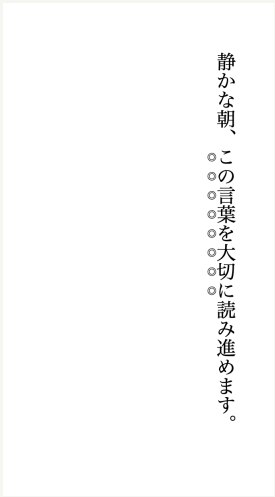
入力例

```
静かな朝、［＃ここから左に二重丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に二重丸傍点終わり］読み進めます。
```

入力構文

```
［＃左に二重丸傍点］対象［＃左に二重丸傍点終わり］／対象
［＃「対象」に左に二重丸傍点］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-double-circle.emphasis-left。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

```
静かな朝、［＃左に二重丸傍点］この言葉を大切に［＃左に二重丸傍点終わり］読み進めます。
```

```
この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に二重丸傍点］読み進めます。
```

```
この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に二重丸傍点］読み進めます。
```

```
静かな朝、［＃ここから左に二重丸傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に二重丸傍点終り］読み進めます。
```

```
言葉［＃「言葉」の左に二重丸傍点］を読みます。
```

関連：二重丸傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

024 / emphasis-7

蛇の目傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は蛇の目傍点です。

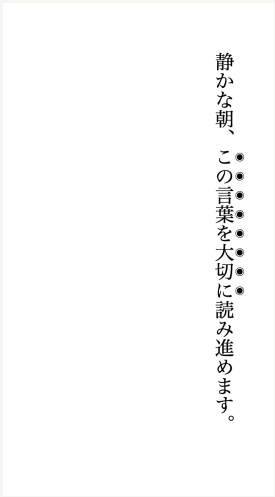
入力例

静かな朝、［＃ここから蛇の目傍点］この言葉を大切に［＃ここで蛇の目傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃蛇の目傍点］対象［＃蛇の目傍点終わり］／対象［＃「対象」に蛇の目傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-fisheye。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃蛇の目傍点］この言葉を大切に［＃蛇の目傍点終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に蛇の目傍点］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は蛇の目傍点］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから蛇の目傍点］この言葉を大切に［＃ここで蛇の目傍点終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に蛇の目傍点］を読みます。

関連：左に蛇の目傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

025 / emphasis-7-left

左に蛇の目傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状は蛇の目傍点です。

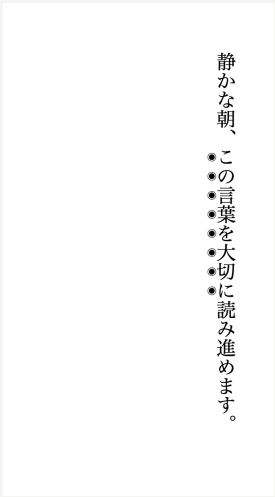
入力例

```
静かな朝、［＃ここから左に蛇の目傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に蛇の目傍点終わり］読み進めます。
```

入力構文

```
［＃左に蛇の目傍点］対象［＃左に蛇の目傍点終わり］／対象［＃「対象」に左に蛇の目傍点］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-fisheye.emphasis-left。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

```
静かな朝、［＃左に蛇の目傍点］この言葉を大切に［＃左に蛇の目傍点終わり］読み進めます。
```

```
この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に蛇の目傍点］読み進めます。
```

```
この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に蛇の目傍点］読み進めます。
```

```
静かな朝、［＃ここから左に蛇の目傍点］この言葉を大切に［＃ここで左に蛇の目傍点終り］読み進めます。
```

```
言葉［＃「言葉」の左に蛇の目傍点］を読みます。
```

関連：蛇の目傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

026 / emphasis-8

ばつ傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状はばつ傍点です。

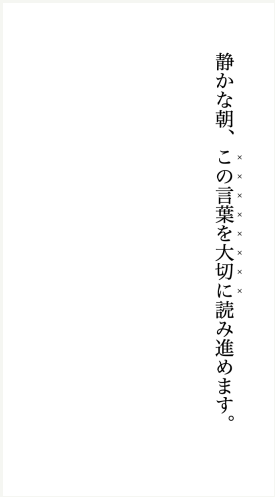
入力例

```
静かな朝、［＃ここからばつ傍点］この言葉を大切に［＃ここでばつ傍点終わり］読み進めます。
```

入力構文

```
［＃ばつ傍点］対象［＃ばつ傍点終わり］／対象［＃「対象」にばつ傍点］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-cross。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

```
静かな朝、［＃ばつ傍点］この言葉を大切に［＃ばつ傍点終わり］読み進めます。
```

```
この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」にばつ傍点］読み進めます。
```

```
この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」はばつ傍点］読み進めます。
```

```
静かな朝、［＃ここからばつ傍点］この言葉を大切に［＃ここでばつ傍点終り］読み進めます。
```

```
言葉［＃「言葉」の右にばつ傍点］を読みます。
```

関連：左にばつ傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍点

027 / emphasis-8-left

左にばつ傍点

語句の脇へ点を打って強調します。形状はばつ傍点です。

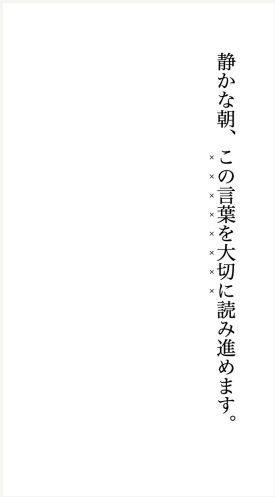
入力例

静かな朝、［＃ここから左にばつ傍点］この言葉を大切に［＃ここで左にばつ傍点終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左にばつ傍点］対象［＃左にばつ傍点終わり］／対象［＃「対象」に左にばつ傍点］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.emphasis.emphasis-cross.emphasis-left。text-emphasisで形状と側を指定。

縦書き・横書き

標準（右指定を含む）は縦書きで右、横書きで上。左指定は縦書きで左、横書きで下。文字ごとの傍点はブラウザのtext-emphasis実装とフォントに依存します。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃左にばつ傍点］この言葉を大切に［＃左にばつ傍点終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左にばつ傍点］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左にばつ傍点］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから左にばつ傍点］この言葉を大切に［＃ここで左にばつ傍点終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の左にばつ傍点］を読みます。

関連：ばつ傍点 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:38

傍線

028 / underline-0

傍線

語句の脇に傍線を引いて強調します。

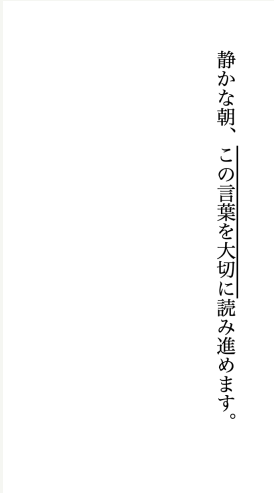
入力例

静かな朝、［＃ここから傍線］この言葉を大切に［＃ここで傍線終わり］読み進めます。

入力構文

［＃傍線］対象［＃傍線終わり］／対象［＃「対象」に傍線］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.underline。text-decoration-line / styleとtext-underline-positionで描画。

縦書き・横書き

標準は縦書きで右・横書きで下。左指定は縦書きで左、横書きで上線。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（6例）

静かな朝、［＃傍線］この言葉を大切に［＃傍線終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に傍線］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は傍線］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから傍線］この言葉を大切に［＃ここで傍線終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に傍線］を読みます。

［＃下線］言葉［＃下線終わり］

関連：左に傍線 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:52

傍線

029 / underline-0-left

左に傍線

語句の脇に傍線を引いて強調します。

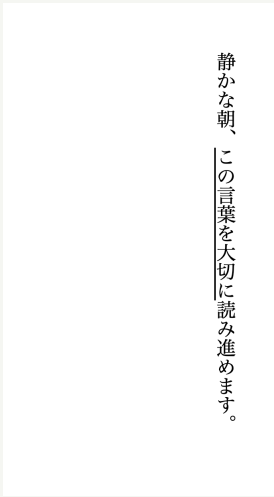
入力例

静かな朝、［＃ここから左に傍線］この言葉を大切に［＃ここで左に傍線終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に傍線］対象［＃左に傍線終わり］／対象［＃「対象」に左に傍線］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.underline.underline-left。text-decoration-line / styleとtext-underline-positionで描画。

縦書き・横書き

標準は縦書きで右・横書きで下。左指定は縦書きで左、横書きで上線。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（6例）

静かな朝、［＃左に傍線］この言葉を大切に［＃左に傍線終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に傍線］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に傍線］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから左に傍線］この言葉を大切に［＃ここで左に傍線終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の左に傍線］を読みます。

［＃左に下線］言葉［＃左に下線終わり］

関連：傍線 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:52

傍線

030 / underline-1

二重傍線

語句の脇に二重傍線を引いて強調します。

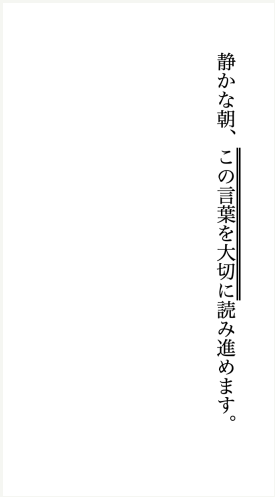
入力例

静かな朝、［＃ここから二重傍線］この言葉を大切に［＃ここで二重傍線終わり］読み進めます。

入力構文

［＃二重傍線］対象［＃二重傍線終わり］／対象［＃「対象」に二重傍線］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.underline.underline-double。text-decoration-line / styleとtext-underline-positionで描画。

縦書き・横書き

標準は縦書きで右・横書きで下。左指定は縦書きで左、横書きで上線。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃二重傍線］この言葉を大切に［＃二重傍線終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に二重傍線］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は二重傍線］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから二重傍線］この言葉を大切に［＃ここで二重傍線終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に二重傍線］を読みます。

関連：左に二重傍線 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:52

傍線

031 / underline-1-left

左に二重傍線

語句の脇に二重傍線を引いて強調します。

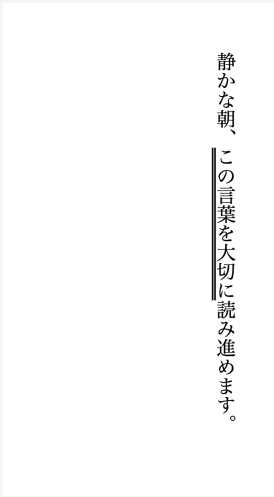
入力例

静かな朝、［＃ここから左に二重傍線］この言葉を大切に［＃ここで左に二重傍線終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に二重傍線］対象［＃左に二重傍線終わり］／対象［＃「対象」に左に二重傍線］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.underline.underline-double.underline-left。text-decoration-line / styleとtext-underline-positionで描画。

縦書き・横書き

標準は縦書きで右・横書きで下。左指定は縦書きで左、横書きで上線。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃左に二重傍線］この言葉を大切に［＃左に二重傍線終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に二重傍線］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に二重傍線］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから左に二重傍線］この言葉を大切に［＃ここで左に二重傍線終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の左に二重傍線］を読みます。

関連：二重傍線 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:52

傍線

032 / underline-2

鎖線

語句の脇に鎖線を引いて強調します。

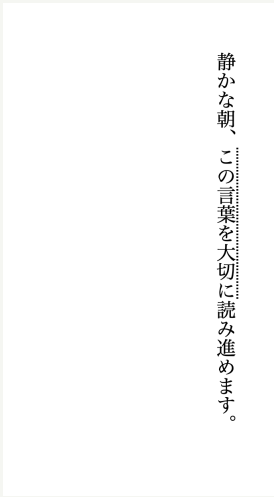
入力例

静かな朝、［＃ここから鎖線］この言葉を大切に［＃ここで鎖線終わり］読み進めます。

入力構文

［＃鎖線］対象［＃鎖線終わり］／対象［＃「対象」に鎖線］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.underline.underline-dotted。text-decoration-line / styleとtext-underline-positionで描画。

縦書き・横書き

標準は縦書きで右・横書きで下。左指定は縦書きで左、横書きで上線。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。 鎖線はCSS dotted（点線）として出力します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃鎖線］この言葉を大切に［＃鎖線終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に鎖線］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は鎖線］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから鎖線］この言葉を大切に［＃ここで鎖線終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に鎖線］を読みます。

関連：左に鎖線 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:52

傍線

033 / underline-2-left

左に鎖線

語句の脇に鎖線を引いて強調します。

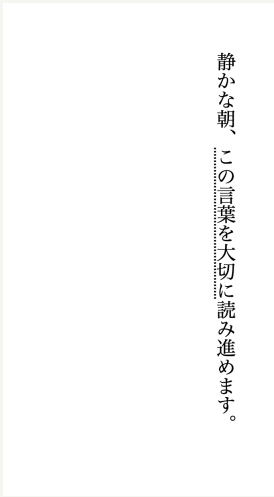
入力例

静かな朝、［＃ここから左に鎖線］この言葉を大切に［＃ここで左に鎖線終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に鎖線］対象［＃左に鎖線終わり］／対象［＃「対象」に左に鎖線］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.underline.underline-dotted.underline-left。text-decoration-line / styleとtext-underline-positionで描画。

縦書き・横書き

標準は縦書きで右・横書きで下。左指定は縦書きで左、横書きで上線。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。 鎖線はCSS dotted（点線）として出力します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃左に鎖線］この言葉を大切に［＃左に鎖線終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に鎖線］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に鎖線］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから左に鎖線］この言葉を大切に［＃ここで左に鎖線終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の左に鎖線］を読みます。

関連：鎖線 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:52

傍線

034 / underline-3

破線

語句の脇に破線を引いて強調します。

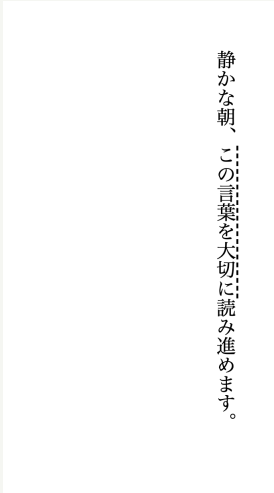
入力例

静かな朝、［＃ここから破線］この言葉を大切に［＃ここで破線終わり］読み進めます。

入力構文

［＃破線］対象［＃破線終わり］／対象［＃「対象」に破線］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.underline.underline-dashed。text-decoration-line / styleとtext-underline-positionで描画。

縦書き・横書き

標準は縦書きで右・横書きで下。左指定は縦書きで左、横書きで上線。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃破線］この言葉を大切に［＃破線終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に破線］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は破線］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから破線］この言葉を大切に［＃ここで破線終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に破線］を読みます。

関連：左に破線 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:52

傍線

035 / underline-3-left

左に破線

語句の脇に破線を引いて強調します。

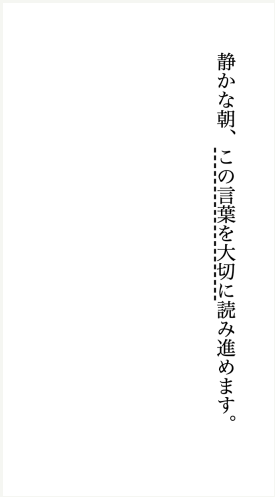
入力例

静かな朝、［＃ここから左に破線］この言葉を大切に［＃ここで左に破線終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に破線］対象［＃左に破線終わり］／対象［＃「対象」に左に破線］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.underline.underline-dashed.underline-left。text-decoration-line / styleとtext-underline-positionで描画。

縦書き・横書き

標準は縦書きで右・横書きで下。左指定は縦書きで左、横書きで上線。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃左に破線］この言葉を大切に［＃左に破線終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に破線］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に破線］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから左に破線］この言葉を大切に［＃ここで左に破線終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の左に破線］を読みます。

関連：破線 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:52

傍線

036 / underline-4

波線

語句の脇に波線を引いて強調します。

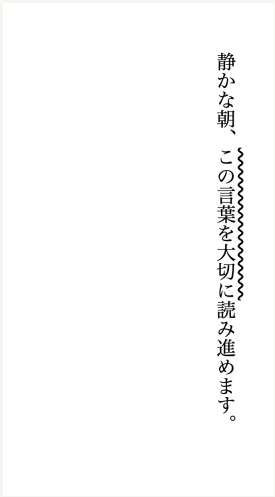
入力例

静かな朝、［＃ここから波線］この言葉を大切に［＃ここで波線終わり］読み進めます。

入力構文

［＃波線］対象［＃波線終わり］／対象［＃「対象」に波線］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.underline.underline-wavy。text-decoration-line / styleとtext-underline-positionで描画。

縦書き・横書き

標準は縦書きで右・横書きで下。左指定は縦書きで左、横書きで上線。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃波線］この言葉を大切に［＃波線終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に波線］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は波線］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから波線］この言葉を大切に［＃ここで波線終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の右に波線］を読みます。

関連：左に波線 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:52

傍線

037 / underline-4-left

左に波線

語句の脇に波線を引いて強調します。

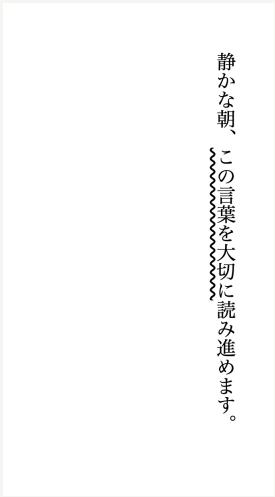
入力例

静かな朝、［＃ここから左に波線］この言葉を大切に［＃ここで左に波線終わり］読み進めます。

入力構文

［＃左に波線］対象［＃左に波線終わり］／対象［＃「対象」に左に波線］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.underline.underline-wavy.underline-left。text-decoration-line / styleとtext-underline-positionで描画。

縦書き・横書き

標準は縦書きで右・横書きで下。左指定は縦書きで左、横書きで上線。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 傍点・傍線は形状と側も一致する終了注記を使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

静かな朝、［＃左に波線］この言葉を大切に［＃左に波線終わり］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」に左に波線］読み進めます。

この言葉を大切に［＃「この言葉を大切に」は左に波線］読み進めます。

静かな朝、［＃ここから左に波線］この言葉を大切に［＃ここで左に波線終り］読み進めます。

言葉［＃「言葉」の左に波線］を読みます。

関連：波線 ／ 範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:52

文字装飾

038 / bold

太字

文字を太くして目立たせます。

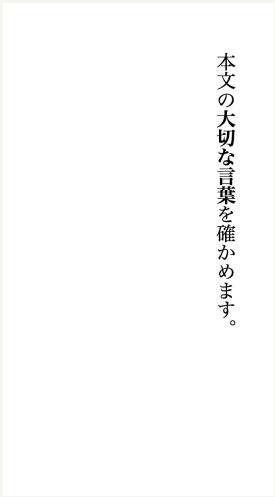
入力例

本文の［＃太字］大切な言葉［＃太字終わり］を確かめます。

入力構文

本文の［＃太字］大切な言葉［＃太字終わり］を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.bold。font-weight:bold

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

本文の［＃ここから太字］大切な言葉［＃ここで太字終わり］を確かめます。

大切な言葉［＃「大切な言葉」は太字］を確かめます。

関連：横組み（ブロック）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:71

文字装飾

039 / italic

斜体

文字を傾けて区別します。

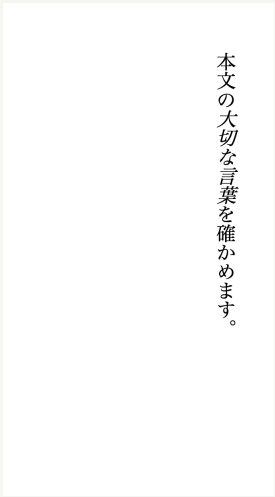
入力例

```
本文の［＃斜体］大切な言葉［＃斜体終わり］を確かめます。
```

入力構文

```
本文の［＃斜体］大切な言葉［＃斜体終わり］を確かめます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.italic。font-style:italic

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 斜体の形は利用フォントに依存します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

```
本文の［＃ここから斜体］大切な言葉［＃ここで斜体終わり］を確かめます。
```

```
大切な言葉［＃「大切な言葉」は斜体］を確かめます。
```

関連：太字 ／ 横組み（ブロック）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:71

文字装飾

040 / gothic

ゴシック

対象の書体をsans-serifへ切り替えます。

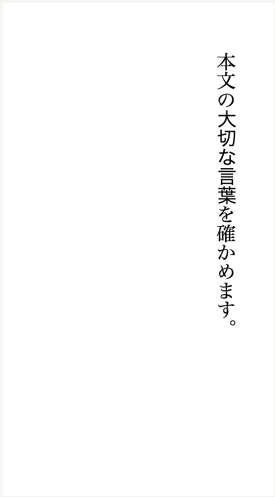
入力例

本文の［＃ゴシック］大切な言葉［＃ゴシック終わり］を確かめます。

入力構文

本文の［＃ゴシック］大切な言葉［＃ゴシック終わり］を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.gothic。font-family:sans-serif

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

本文の［＃ここからゴシック］大切な言葉［＃ここでゴシック終わり］を確かめます。

大切な言葉［＃「大切な言葉」はゴシック］を確かめます。

関連：太字 ／ 横組み（ブロック）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:71

文字装飾

041 / tcy

縦中横

縦の列の中で数字などを横に並べます。

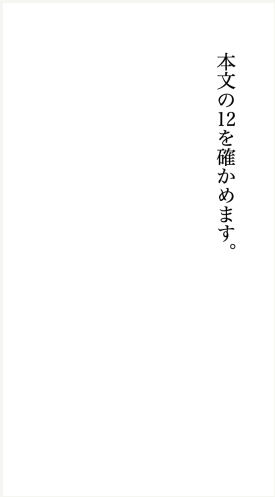
入力例

本文の［＃縦中横］12［＃縦中横終わり］を確かめます。

入力構文

本文の［＃縦中横］12［＃縦中横終わり］を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.tcy。text-combine-upright:all

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。 長い文字列を縦中横にすると読みにくくなるため、短い数字などに使います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

本文の［＃ここから縦中横］12［＃ここで縦中横終わり］を確かめます。

12［＃「12」は縦中横］を確かめます。

関連：太字 ／ 横組み（ブロック）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:71

文字装飾

042 / super

行右小書き

本文より小さく、右側寄りの文字にします。

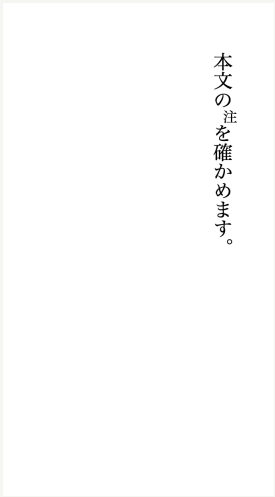
入力例

```
本文の［＃行右小書き］注［＃行右小書き終わり］を確かめます。
```

入力構文

```
本文の［＃行右小書き］注［＃行右小書き終わり］を確かめます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.superscript。vertical-align:super; font-size:.75em

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

```
本文の［＃ここから行右小書き］注［＃ここで行右小書き終わり］を確かめます。
```

```
注［＃「注」は行右小書き］を確かめます。
```

関連：太字 ／ 横組み（ブロック）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:71

文字装飾

043 / sub

行左小書き

本文より小さく、左側寄りの文字にします。

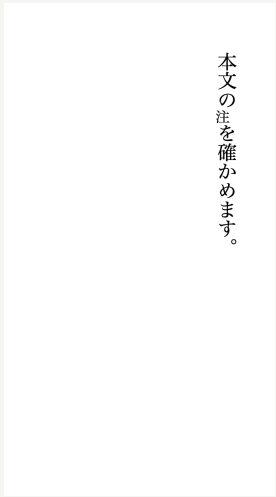
入力例

本文の［＃行左小書き］注［＃行左小書き終わり］を確かめます。

入力構文

本文の［＃行左小書き］注［＃行左小書き終わり］を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.subscript。vertical-align:sub; font-size:.75em

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

本文の［＃ここから行左小書き］注［＃ここで行左小書き終わり］を確かめます。

注［＃「注」は行左小書き］を確かめます。

関連：太字 ／ 横組み（ブロック）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:71

文字装飾

044 / super-alias

上付き小文字

上付きの小文字を添えます。

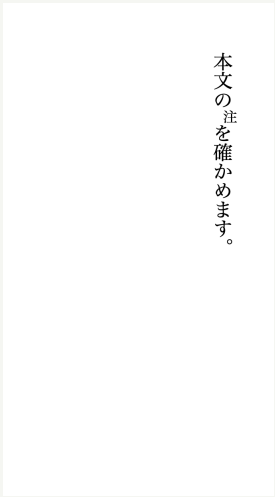
入力例

本文の［＃上付き小文字］注［＃上付き小文字終わり］を確かめます。

入力構文

本文の［＃上付き小文字］注［＃上付き小文字終わり］を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.superscript。vertical-align:super; font-size:.75em

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

本文の［＃ここから上付き小文字］注［＃ここで上付き小文字終わり］を確かめます。

注［＃「注」は上付き小文字］を確かめます。

関連：太字 ／ 横組み（ブロック）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:71

文字装飾

045 / sub-alias

下付き小文字

下付きの小文字を添えます。

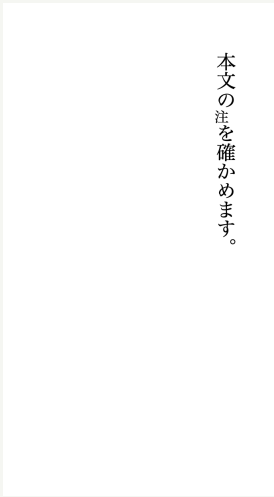
入力例

本文の［＃下付き小文字］注［＃下付き小文字終わり］を確かめます。

入力構文

本文の［＃下付き小文字］注［＃下付き小文字終わり］を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.subscript。vertical-align:sub; font-size:.75em

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

本文の［＃ここから下付き小文字］注［＃ここで下付き小文字終わり］を確かめます。

注［＃「注」は下付き小文字］を確かめます。

関連：太字 ／ 横組み（ブロック）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:71

文字装飾

046 / frame-inline

罫囲み

短い文字列を細い罫線で囲みます。

入力例

本文の［＃罫囲み］大切な言葉［＃罫囲み終わり］を確かめます。

入力構文

本文の［＃罫囲み］大切な言葉［＃罫囲み終わり］を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.frame。border:1px solid; padding

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

本文の［＃ここから罫囲み］大切な言葉［＃ここで罫囲み終わり］を確かめます。

大切な言葉［＃「大切な言葉」は罫囲み］を確かめます。

関連：太字 ／ 横組み（ブロック）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:71

文字装飾

047 / horizontal-inline

横組み

文章の一部分だけを横組みにします。

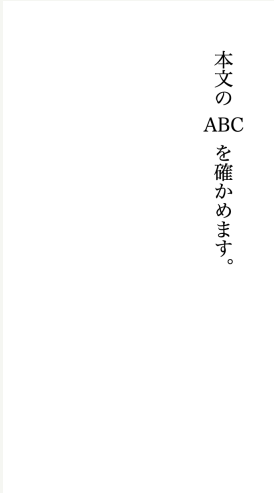
入力例

本文の［＃横組み］ABC［＃横組み終わり］を確かめます。

入力構文

本文の［＃横組み］ABC［＃横組み終わり］を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.inline-horizontal。writing-mode:horizontal-tb; display:inline-block

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 対象文字列は注記の前にある同じ行の表示文字から、最後に一致する箇所を選びます。ルビの読みや未解決注記の中は対象に含めません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

本文の［＃ここから横組み］ABC［＃ここで横組み終わり］を確かめます。

ABC［＃「ABC」は横組み］を確かめます。

関連：太字 ／ 横組み（ブロック）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:71

文字サイズ

048 / size-large-1

1段階大きな文字

通常の文字サイズに対して1.2000倍の文字にします。

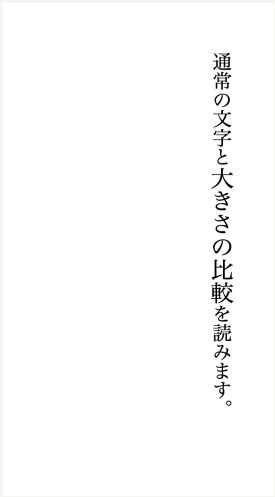
入力例

通常の文字と［＃1段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階大きな文字］対象［＃大きな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.large.size-large-1。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

通常の文字と［＃１段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃一段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

比較［＃「比較」は1段階大きな文字］です。

通常の文字と［＃ここから1段階大きな文字］大きさの比較［＃ここで大きな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

049 / size-large-2

2段階大きな文字

通常の文字サイズに対して1.4400倍の文字にします。

入力例

通常の文字と［＃2段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階大きな文字］対象［＃大きな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.large.size-large-2。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

- 通常の文字と［＃２段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。
- 通常の文字と［＃二段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。
- 比較［＃「比較」は2段階大きな文字］です。
- 通常の文字と［＃ここから2段階大きな文字］大きさの比較［＃ここで大きな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

050 / size-large-3

3段階大きな文字

通常の文字サイズに対して1.7280倍の文字にします。

入力例

通常の文字と［＃3段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階大きな文字］対象［＃大きな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.large.size-large-3。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

通常の文字と［＃３段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃三段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

比較［＃「比較」は3段階大きな文字］です。

通常の文字と［＃ここから3段階大きな文字］大きさの比較［＃ここで大きな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

051 / size-large-4

4段階大きな文字

通常の文字サイズに対して2.0736倍の文字にします。

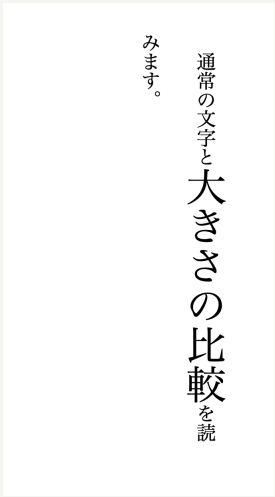
入力例

通常の文字と［＃4段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階大きな文字］対象［＃大きな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.large.size-large-4。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

通常の文字と［＃４段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃四段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

比較［＃「比較」は4段階大きな文字］です。

通常の文字と［＃ここから4段階大きな文字］大きさの比較［＃ここで大きな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

052 / size-large-5

5段階大きな文字

通常の文字サイズに対して2.4883倍の文字にします。

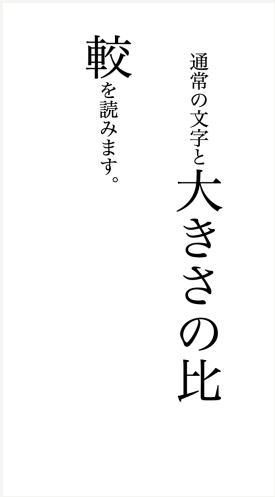
入力例

通常の文字と［＃5段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階大きな文字］対象［＃大きな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.large.size-large-5。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

- 通常の文字と［＃５段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。
- 通常の文字と［＃五段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。
- 比較［＃「比較」は5段階大きな文字］です。
- 通常の文字と［＃ここから5段階大きな文字］大きさの比較［＃ここで大きな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

053 / size-large-6

6段階大きな文字

通常の文字サイズに対して2.9860倍の文字にします。

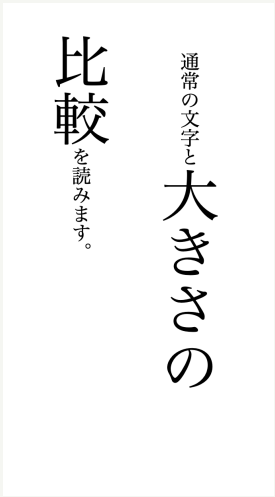
入力例

通常の文字と［＃6段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階大きな文字］対象［＃大きな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.large.size-large-6。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

通常の文字と［＃６段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃六段階大きな文字］大きさの比較［＃大きな文字終わり］を読みます。

比較［＃「比較」は6段階大きな文字］です。

通常の文字と［＃ここから6段階大きな文字］大きさの比較［＃ここで大きな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

054 / size-small-1

1段階小さな文字

通常の文字サイズに対して0.8333倍の文字にします。

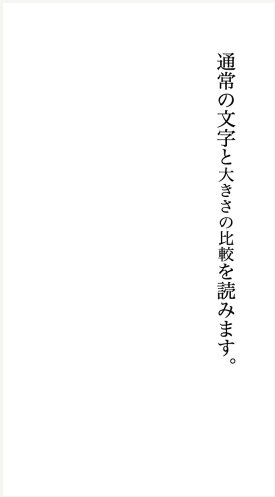
入力例

通常の文字と［＃1段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階小さな文字］対象［＃小さな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.small.size-small-1。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（5例）

通常の文字と［＃１段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃一段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

比較［＃「比較」は1段階小さな文字］です。

通常の文字と［＃ここから1段階小さな文字］大きさの比較［＃ここで小さな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

055 / size-small-2

2段階小さな文字

通常の文字サイズに対して0.6944倍の文字にします。

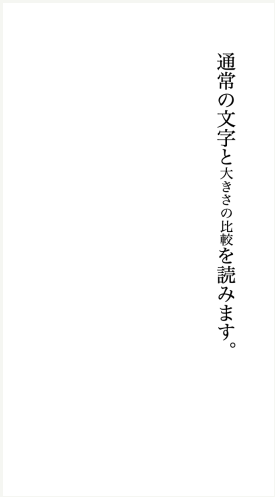
入力例

通常の文字と［＃2段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階小さな文字］対象［＃小さな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.small.size-small-2。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

通常の文字と［＃２段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃二段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

比較［＃「比較」は2段階小さな文字］です。

通常の文字と［＃ここから2段階小さな文字］大きさの比較［＃ここで小さな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

056 / size-small-3

3段階小さな文字

通常の文字サイズに対して0.5787倍の文字にします。

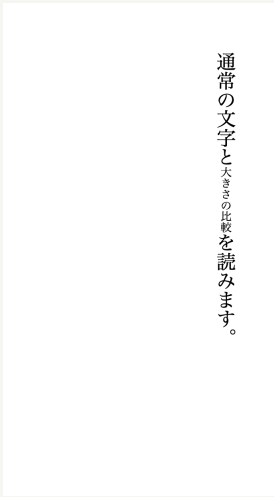
入力例

通常の文字と［＃3段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階小さな文字］対象［＃小さな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.small.size-small-3。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

通常の文字と［＃３段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃三段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

比較［＃「比較」は3段階小さな文字］です。

通常の文字と［＃ここから3段階小さな文字］大きさの比較［＃ここで小さな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

057 / size-small-4

4段階小さな文字

通常の文字サイズに対して0.4823倍の文字にします。

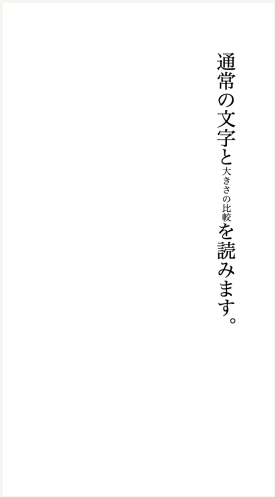
入力例

通常の文字と［＃4段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階小さな文字］対象［＃小さな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.small.size-small-4。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

通常の文字と［＃４段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃四段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

比較［＃「比較」は4段階小さな文字］です。

通常の文字と［＃ここから4段階小さな文字］大きさの比較［＃ここで小さな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

058 / size-small-5

5段階小さな文字

通常の文字サイズに対して0.4019倍の文字にします。

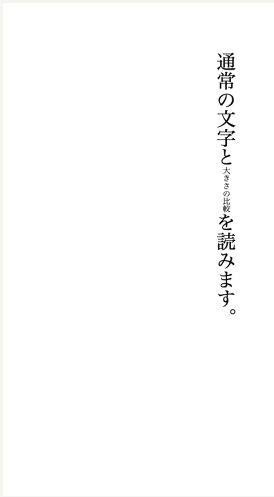
入力例

通常の文字と［＃5段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階小さな文字］対象［＃小さな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.small.size-small-5。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

通常の文字と［＃５段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃五段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

比較［＃「比較」は5段階小さな文字］です。

通常の文字と［＃ここから5段階小さな文字］大きさの比較［＃ここで小さな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

文字サイズ

059 / size-small-6

6段階小さな文字

通常の文字サイズに対して0.3349倍の文字にします。

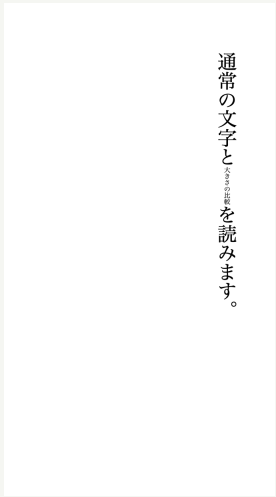
入力例

通常の文字と［＃6段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

入力構文

［＃N段階小さな文字］対象［＃小さな文字終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.small.size-small-6。font-sizeをem指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始と終了を必ず対応させます。文書入力では装飾を複数行に継続できますが、章の境界では閉じてください。 段階は1〜6。サイズ指定に限り漢数字の一〜六も使用可。7以上は診断して注記を残します。重ねても段階の加算とはなりません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

通常の文字と［＃６段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

通常の文字と［＃六段階小さな文字］大きさの比較［＃小さな文字終わり］を読みます。

比較［＃「比較」は6段階小さな文字］です。

通常の文字と［＃ここから6段階小さな文字］大きさの比較［＃ここで小さな文字終わり］を読みます。

関連：太字 ／ ゴシック

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:129

見出し・構造

060 / heading-block-large

大見出し

独立した行を見出しにします。

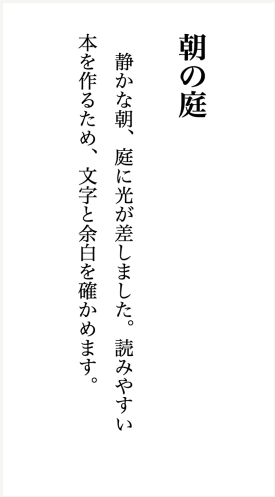
入力例

［＃大見出し］朝の庭［＃大見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

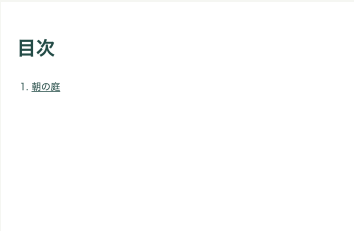
入力構文

［＃大見出し］朝の庭［＃大見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

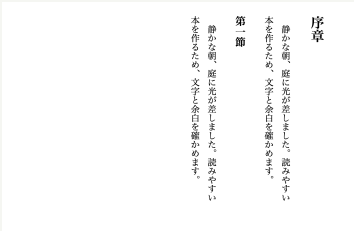
EPUBでの表示



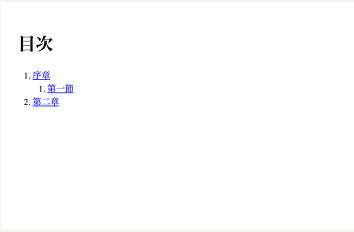
実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大



大見出しで章分割オン：分割した最初の章／クリックで拡大



大見出しで章分割オン：実EPUBの目次／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

h2。大・小見出しだけでは自動目次項目になりません。 0.9.0では「大見出しで章分割」をオンにすると、h2直前で章ファイルを分割し、大見出しも目次へ追加します。中見出しはその配下です。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 見出しの大小と章分割は別の設定です。前方参照では、その行の表示文字全体を対象にします。複数行の範囲指定は各行を同じレベルの見出しとして表示します。 0.9.0、完全に閉じた複数行範囲は一群として目次名を連結します。別項の複数行見出しを参照。 章分割は初期オフ。オンの制作データは内部version 5。同行・窓の大見出しは分割対象外。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（3例）

朝の庭［＃「朝の庭」は大見出し］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

朝の庭［＃大見出し］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

［＃ここから大見出し］
朝の庭
［＃ここで大見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

関連：章・節・項 ／ 中見出し ／ 複数行の大見出し

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/mod.rs:35

見出し・構造

061 / heading-block-medium

中見出し

独立した行を見出しにします。

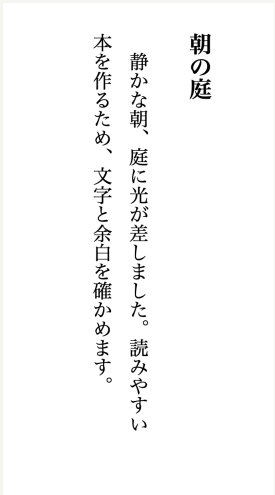
入力例

［＃中見出し］朝の庭［＃中見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

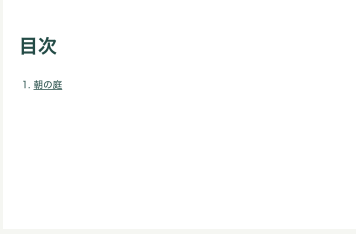
入力構文

［＃中見出し］朝の庭［＃中見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

h3。中見出しは目次項目の対象。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 見出しの大小と章分割は別の設定です。前方参照では、その行の表示文字全体を対象にします。複数行の範囲指定は各行を同じレベルの見出しとして表示します。 0.9.0、完全に閉じた複数行範囲は一群として目次名を連結します。別項の複数行見出しを参照。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（3例）

```
朝の庭［＃「朝の庭」は中見出し］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

```
朝の庭［＃中見出し］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

```
［＃ここから中見出し］
朝の庭
［＃ここで中見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

関連：章・節・項 ／ 複数行の中見出し

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/mod.rs:35

見出し・構造

062 / heading-block-small

小見出し

独立した行を見出しにします。

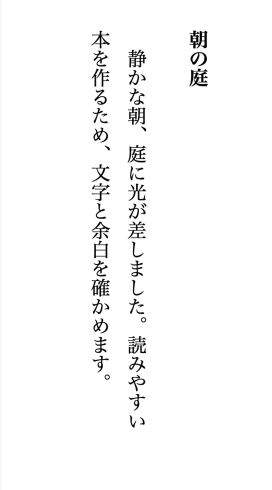
入力例

```
［＃小見出し］朝の庭［＃小見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

入力構文

```
［＃小見出し］朝の庭［＃小見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

h4。大・小見出しだけでは自動目次項目になりません。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 見出しの大小と章分割は別の設定です。前方参照では、その行の表示文字全体を対象にします。複数行の範囲指定は各行を同じレベルの見出しとして表示します。 0.9.0、完全に閉じた複数行範囲は一群として目次名を連結します。別項の複数行見出しを参照。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（3例）

```
朝の庭［＃「朝の庭」は小見出し］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

```
朝の庭［＃小見出し］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

```
［＃ここから小見出し］
朝の庭
［＃ここで小見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

関連：章・節・項 ／ 中見出し ／ 複数行の小見出し

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/mod.rs:35

見出し・構造

063 / heading-run-large

同行大見出し

段落内に見出しを入れ、本文を続けます。

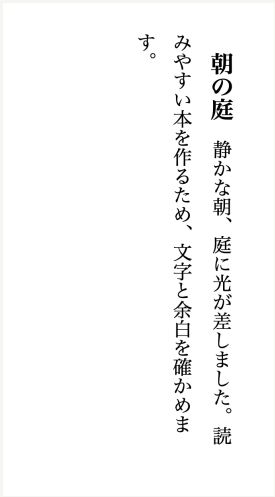
入力例

［＃同行大見出し］朝の庭［＃同行大見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

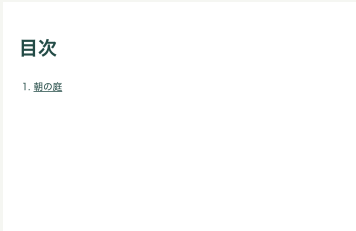
入力構文

［＃同行大見出し］朝の庭［＃同行大見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.run-in-heading。大・小見出しだけでは自動目次項目になりません。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 見出しの大小と章分割は別の設定です。同行・窓見出しは1行内で指定。重複・ルビや割り注との複雑な交差は太字へフォールバックし診断します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

朝の庭［＃「朝の庭」は同行大見出し］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

関連：章・節・項 ／ 中見出し

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:63

見出し・構造

064 / heading-run-medium

同行中見出し

段落内に見出しを入れ、本文を続けます。

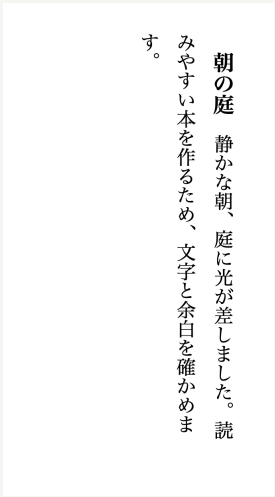
入力例

［＃同行中見出し］朝の庭［＃同行中見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

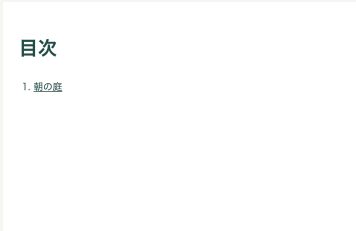
入力構文

［＃同行中見出し］朝の庭［＃同行中見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.run-in-heading。中見出しは目次項目の対象。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 見出しの大小と章分割は別の設定です。同行・窓見出しは1行内で指定。重複・ルビや割り注との複雑な交差は太字へフォールバックし診断します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

朝の庭［＃「朝の庭」は同行中見出し］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

関連：章・節・項 ／ 中見出し

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:63

見出し・構造

065 / heading-run-small

同行小見出し

段落内に見出しを入れ、本文を続けます。

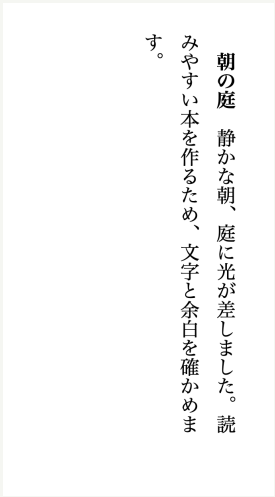
入力例

［＃同行小見出し］朝の庭［＃同行小見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

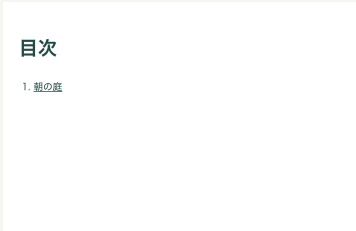
入力構文

［＃同行小見出し］朝の庭［＃同行小見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.run-in-heading。大・小見出しだけでは自動目次項目になりません。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 見出しの大小と章分割は別の設定です。同行・窓見出しは1行内で指定。重複・ルビや割り注との複雑な交差は太字へフォールバックし診断します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

朝の庭［＃「朝の庭」は同行小見出し］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

関連：章・節・項 ／ 中見出し

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:63

見出し・構造

066 / heading-window-large

窓大見出し

本文の脇へ見出しを置き、回り込みを指定します。

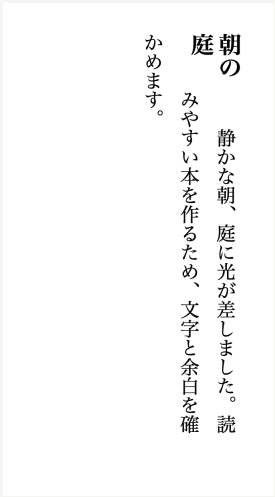
入力例

［＃窓大見出し］朝の庭［＃窓大見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

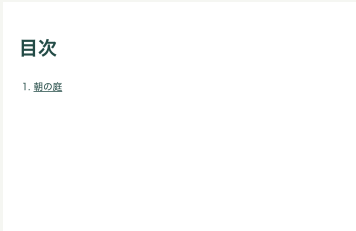
入力構文

［＃窓大見出し］朝の庭［＃窓大見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.window-heading、float:inline-start。大・小見出しだけでは自動目次項目になりません。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 見出しの大小と章分割は別の設定です。同行・窓見出しは1行内で指定。重複・ルビや割り注との複雑な交差は太字へフォールバックし診断します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

朝の庭［＃「朝の庭」は窓大見出し］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

関連：章・節・項 ／ 中見出し

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:63

見出し・構造

067 / heading-window-medium

窓中見出し

本文の脇へ見出しを置き、回り込みを指定します。

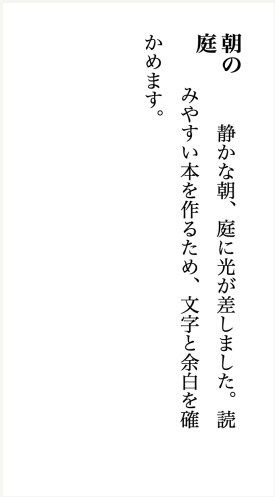
入力例

［＃窓中見出し］朝の庭［＃窓中見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

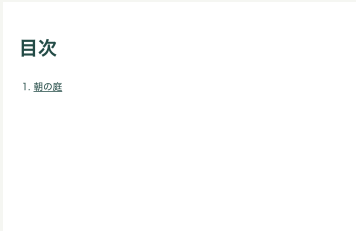
入力構文

［＃窓中見出し］朝の庭［＃窓中見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.window-heading、float:inline-start。中見出しは目次項目の対象。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 見出しの大小と章分割は別の設定です。同行・窓見出しは1行内で指定。重複・ルビや割り注との複雑な交差は太字へフォールバックし診断します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

朝の庭［＃「朝の庭」は窓中見出し］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

関連：章・節・項 ／ 中見出し

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:63

見出し・構造

068 / heading-window-small

窓小見出し

本文の脇へ見出しを置き、回り込みを指定します。

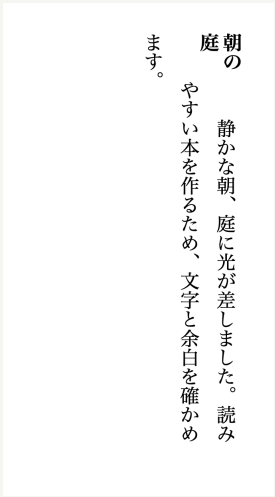
入力例

［＃窓小見出し］朝の庭［＃窓小見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

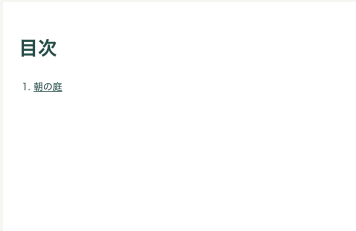
入力構文

［＃窓小見出し］朝の庭［＃窓小見出し終わり］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.window-heading、float:inline-start。大・小見出しだけでは自動目次項目になりません。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 見出しの大小と章分割は別の設定です。同行・窓見出しは1行内で指定。重複・ルビや割り注との複雑な交差は太字へフォールバックし診断します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

朝の庭［＃「朝の庭」は窓小見出し］　静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

関連：章・節・項 ／ 中見出し

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/annotations.rs:63

見出し・構造

章・節・項

階層化した目次と本文の分割位置を明示します。

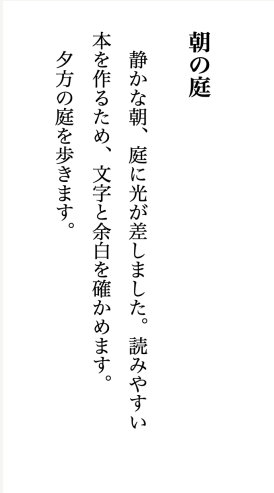
入力例

```
［＃章：第一章／朝の庭］
朝の庭［＃中見出し］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃章：第一章／夕暮れ］
夕方の庭を歩きます。
```

入力構文

```
［＃章：章名／節名／項名］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

SectionStart、sectionアンカーとnav.xhtmlの入れ子リスト。最上位名が変わると章XHTMLを分割。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 独自拡張。単独行。章名を本文へ自動表示しません。階層区切りは全角／。空の階層は不可。同じ章内の同一パスは最初の指定へリンクします。別章を挟んで同名へ戻ると別章です。

関連：画像を使った章扉 ／ 中見出し

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/block_notes.rs:137

見出し・構造

070 / page-break

改ページ

新しいページから本文を始める区切りを置きます。

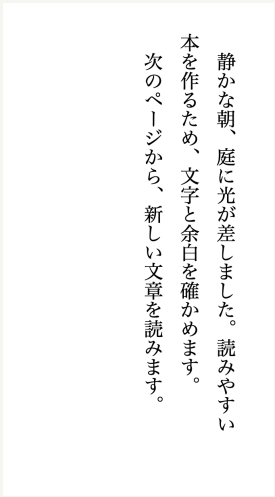
入力例

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃改ページ］
次のページから、新しい文章を読みます。
```

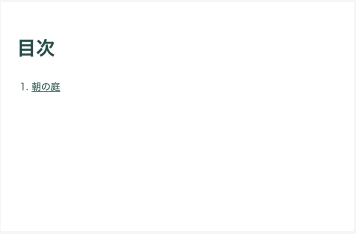
入力構文

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃改ページ］
次のページから、新しい文章を読みます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

共通プレビュー分割処理での次ページ／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.page-break と break-before:page。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 単独行に置きます。改丁・改見開きも通常の改ページと同じ扱いで、左右ページの偶奇は保証しません。画面の連続表示では区切りだけを示す場合があります。

関連：ページの左右中央 ／ 画像を使った章扉

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/document.rs:19

見出し・構造

071 / page-recto

改丁

新しいページから本文を始める区切りを置きます。

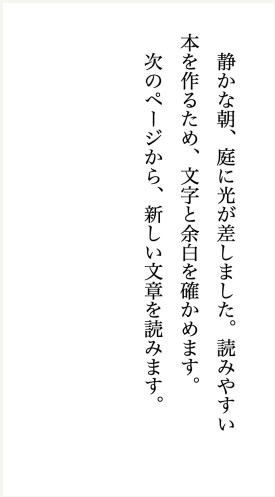
入力例

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃改丁］
次のページから、新しい文章を読みます。
```

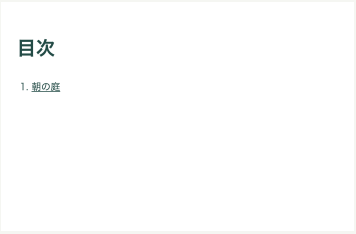
入力構文

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃改丁］
次のページから、新しい文章を読みます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

共通プレビュー分割処理での次ページ／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.page-break と break-before:page。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 単独行に置きます。改丁・改見開きも通常の改ページと同じ扱いで、左右ページの偶奇は保証しません。画面の連続表示では区切りだけを示す場合があります。

関連：ページの左右中央 ／ 画像を使った章扉

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/document.rs:19

見出し・構造

072 / page-spread

改見開き

新しいページから本文を始める区切りを置きます。

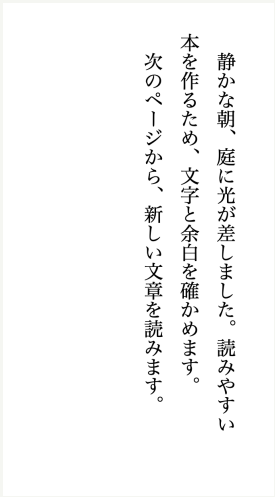
入力例

静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃改見開き］
次のページから、新しい文章を読みます。

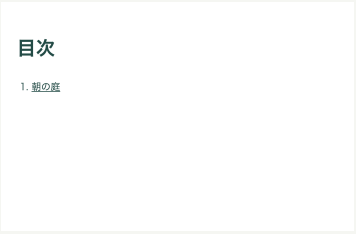
入力構文

静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃改見開き］
次のページから、新しい文章を読みます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

共通プレビュー分割処理での次ページ／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.page-break と break-before:page。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 単独行に置きます。改丁・改見開きも通常の改ページと同じ扱いで、左右ページの偶奇は保証しません。画面の連続表示では区切りだけを示す場合があります。

関連：ページの左右中央 ／ 画像を使った章扉

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/document.rs:19

見出し・構造

073 / form-feed

フォームフィードによる改ページ

原稿のU+000Cをページ区切りとして読み込みます。

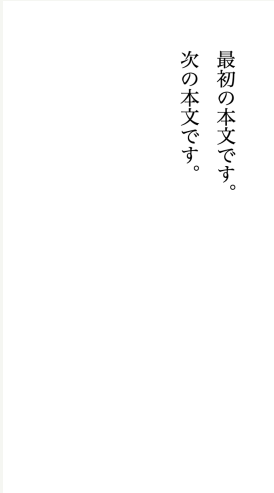
入力例

最初の本文です。［U+000C：改ページ制御文字］次の本文です。

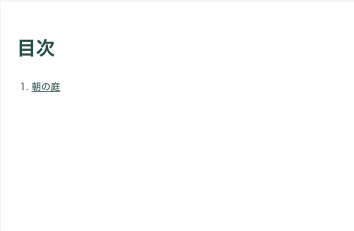
入力構文

本文 + U+000C + 本文

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

共通プレビュー分割処理での次ページ／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

PageBreakへ変換。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 通常は「改ページ」を使用してください。その他のXML不正制御文字は同じ意味にならず置換と診断の対象です。

関連：改ページ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/document.rs:19

見出し・構造

121 / body-end

本文終わり

本文と、その後ろの記載事項の境界を明示します。

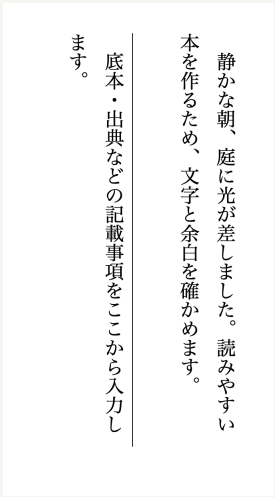
入力例

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃本文終わり］
底本・出典などの記載事項をここから入力します。
```

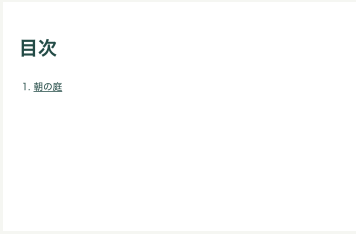
入力構文

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃本文終わり］
底本・出典などの記載事項をここから入力します。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

p.body-endと後続のdiv.after-text。区切り線・余白で区別。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 単独行で本全体に一度だけ。配置・装飾・見出しの外側で指定。書誌・底本の情報を自動推測しません。後続本文は残り、章指定も使用可。自動奥付の設定とは別です。

関連：章・節・項 ／ 本文の訂正注記

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/document.rs:19

見出し・構造

122 / heading-group-large

複数行の大見出し

複数の原稿行を、表示の改行を保った一つの見出し群として扱います。

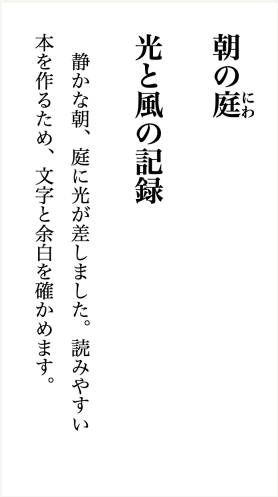
入力例

```
［＃ここから大見出し］
朝の｜庭《にわ》
光と風の記録
［＃ここで大見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

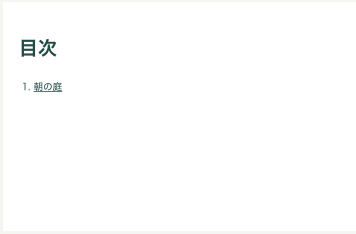
入力構文

```
［＃ここから大見出し］
見出しの1行目
見出しの2行目
［＃ここで大見出し終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

各行はh2。完全に閉じた明示範囲だけに共通groupを付け、目次の文字列は表示行をtrimして半角空白で連結。リンク先は最初の見出し行。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始・終了は独立行。見出し内へリスト・表・複数行キャプションを入れません。閉じ忘れ・構造境界を越えた範囲は一群になりません。読みや注番号は目次名に含めず、隣接する別範囲や同名見出しを統合しません。通常の大見出しと同じく「大見出しで章分割」オンで一群につき一つの分割・目次。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［＃ここから大見出し］
朝の庭

光と風
［＃ここで大見出し終わり］
本文です。
```

関連：大見出し ／ 章・節・項

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/document.rs:19

見出し・構造

123 / heading-group-medium

複数行の中見出し

複数の原稿行を、表示の改行を保った一つの見出し群として扱います。

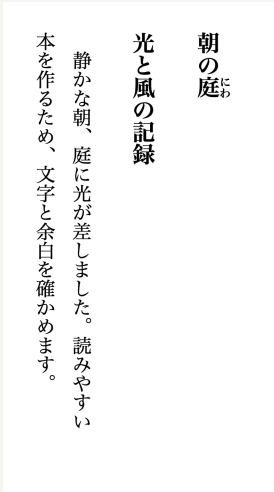
入力例

```
［＃ここから中見出し］
朝の｜庭《にわ》
光と風の記録
［＃ここで中見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

入力構文

```
［＃ここから中見出し］
見出しの1行目
見出しの2行目
［＃ここで中見出し終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

各行はh3。完全に閉じた明示範囲だけに共通groupを付け、目次の文字列は表示行をtrimして半角空白で連結。リンク先は最初の見出し行。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始・終了は独立行。見出し内へリスト・表・複数行キャプションを入れません。閉じ忘れ・構造境界を越えた範囲は一群になりません。読みや注番号は目次名に含めず、隣接する別範囲や同名見出しを統合しません。中見出しは一群が目次1項目。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［＃ここから中見出し］
朝の庭

光と風
［＃ここで中見出し終わり］
本文です。
```

関連：中見出し ／ 章・節・項

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/document.rs:19

見出し・構造

124 / heading-group-small

複数行の小見出し

複数の原稿行を、表示の改行を保った一つの見出し群として扱います。

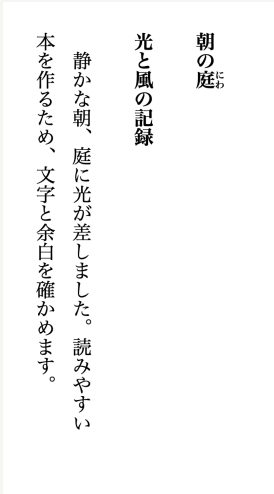
入力例

```
［＃ここから小見出し］
朝の｜庭《にわ》
光と風の記録
［＃ここで小見出し終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

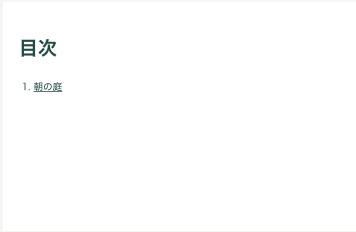
入力構文

```
［＃ここから小見出し］
見出しの1行目
見出しの2行目
［＃ここで小見出し終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

各行はh4。完全に閉じた明示範囲だけに共通groupを付け、目次の文字列は表示行をtrimして半角空白で連結。リンク先は最初の見出し行。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 開始・終了は独立行。見出し内へリスト・表・複数行キャプションを入れません。閉じ忘れ・構造境界を越えた範囲は一群になりません。読みや注番号は目次名に含めず、隣接する別範囲や同名見出しを統合しません。小見出しは目次に追加しません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［＃ここから小見出し］
朝の庭

光と風
［＃ここで小見出し終わり］
本文です。
```

関連：小見出し ／ 章・節・項

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/document.rs:19

配置

074 / indent

字下げ

すべての行を天から2字下げます。

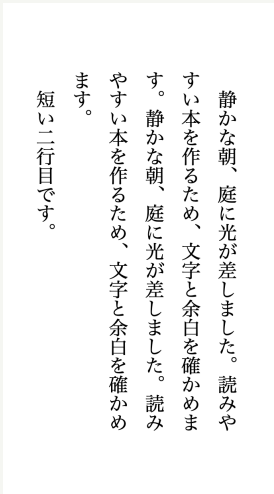
入力例

```
［＃ここから2字下げ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字下げ終わり］
```

入力構文

```
［＃ここから2字下げ］
本文
［＃ここで字下げ終わり］／［＃2字下げ］本文（1行）
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.indent。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。 「天からN字下げ」も単独の字下げ形式で受理します。連結配置の項目にはこの接頭辞を使いません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

［＃2字下げ］静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

［＃ここから２字下げ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字下げ終わり］

［＃天から３字下げ］本文を下げます。

［＃ここから天から２字下げ］
本文を下げます。
［＃ここで字下げ終わり］

関連：配置の組み合わせ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

075 / hanging

凸凹字下げ

最初の行と折り返した行の開始位置を別々に指定します。

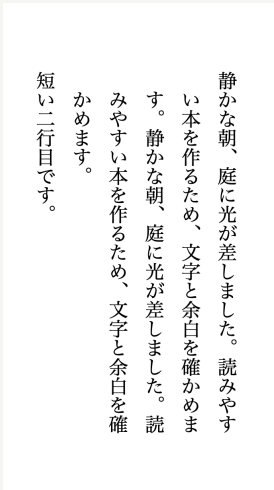
入力例

［＃ここから2字下げ、折り返して3字下げ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字下げ終わり］

入力構文

［＃ここから2字下げ、折り返して3字下げ］
本文
［＃ここで字下げ終わり］／［＃2字下げ、折り返して3字下げ］
本文（1行）

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.hanging-indent。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。二つの字数はともに天からの位置です。二項目のこの順序では終了は字下げ終わり。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

［＃2字下げ、折り返して3字下げ］静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

［＃ここから２字下げ、折り返して３字下げ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字下げ終わり］

関連：字下げ ／ 配置の組み合わせ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

076 / flush-hanging

改行天付き

最初の行を天付き、折り返しを2字下げにします。

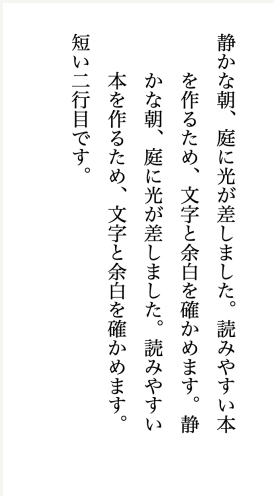
入力例

［＃ここから改行天付き、折り返して2字下げ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字下げ終わり］

入力構文

［＃ここから改行天付き、折り返して2字下げ］
本文
［＃ここで字下げ終わり］／［＃改行天付き、折り返して2字下げ］本文（1行）

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.hanging-indent。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

［＃改行天付き、折り返して2字下げ］静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

［＃ここから改行天付き、折り返して２字下げ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字下げ終わり］

関連：字下げ ／ 配置の組み合わせ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

077 / compound

配置の組み合わせ

行頭・折り返し・行末余白・字詰めを一つの配置枠へまとめます。

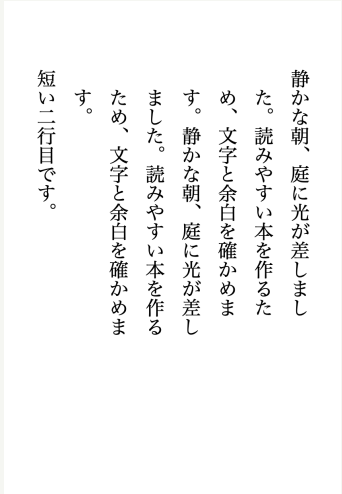
入力例

［＃ここから2字下げ、折り返して3字下げ、地から2字上げ、14字詰め］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字下げ終わり］

入力構文

［＃ここから2字下げ、折り返して3字下げ、地から2字上げ、14字詰め］
本文
［＃ここで字下げ終わり］／［＃2字下げ、折り返して3字下げ、地から2字上げ、14字詰め］本文（1行）

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.paragraph-layout。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。項目順は自由。同じ項目の重複は不可。「改行天付き」とN字下げは併用不可。省略時は先頭0、折り返しは先頭と同じ、行末余白0。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

［＃2字下げ、折り返して3字下げ、地から2字上げ、14字詰め］静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

［＃ここから２字下げ、折り返して３字下げ、地から２字上げ、１４字詰め］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字下げ終わり］

［＃ここから2字下げ、折り返して3字下げ、地から2字上げ、14字詰め］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで配置終わり］

［＃ここから14字詰め、地から2字上げ、折り返して3字下げ、2字下げ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字下げ終わり］

関連：字下げ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

078 / measure

字詰め

本文の行長を14字相当に制限します。

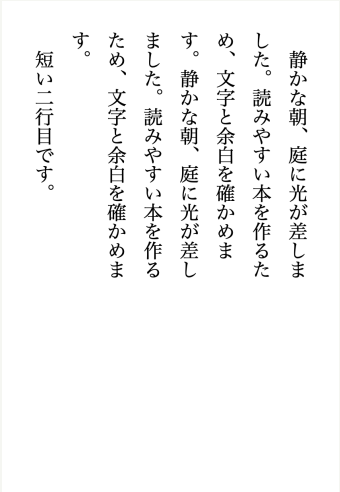
入力例

［＃ここから14字詰め］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字詰め終わり］

入力構文

［＃ここから14字詰め］
本文
［＃ここで字詰め終わり］／［＃14字詰め］本文（1行）

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.line-measure。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。字詰めは1以上。利用可能な行長が上限です。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

```
［＃14字詰め］静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

```
［＃ここから１４字詰め］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで字詰め終わり］
```

関連：字下げ ／ 配置の組み合わせ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

079 / ground

地付き揃え

まとまり全体を行末側へ寄せ、各行の頭を揃えます。

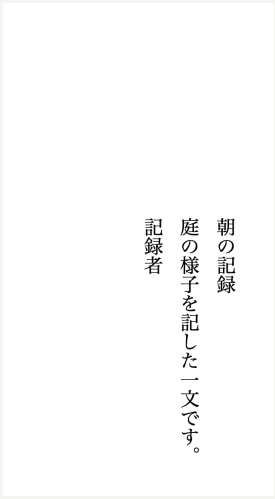
入力例

```
［＃ここから地付き揃え］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで地付き揃え終わり］
```

入力構文

```
［＃ここから地付き揃え］
本文
［＃ここで地付き揃え終わり］／［＃地付き揃え］本文（1行）
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.ground-aligned。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。天側は最低2字あけ、長い行は利用可能領域で折り返します。物理ページ下端への固定ではありません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

```
［＃地付き揃え］朝の記録
```

```
［＃ここから地付き揃え］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで地付き揃え終わり］
```

関連：字下げ ／ 配置の組み合わせ ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

080 / ground-measure

地付き揃えと字詰め

行頭を揃えたまとまりを、指定した字詰めの上限内で地へ寄せます。

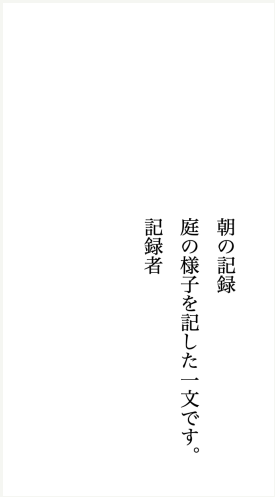
入力例

```
［＃ここから地付き揃え、14字詰め］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで地付き揃え終わり］
```

入力構文

```
［＃ここから地付き揃え、14字詰め］
本文
［＃ここで地付き揃え終わり］／［＃地付き揃え、14字詰め］本文（1行）
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.ground-aligned。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。地付き揃えと字詰めの2項目だけを組み合わせます。順序は逆でも可。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（3例）

```
［＃地付き揃え、14字詰め］朝の記録
```

```
［＃ここから地付き揃え、１４字詰め］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで地付き揃え終わり］
```

```
［＃ここから14字詰め、地付き揃え］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで地付き揃え終わり］
```

関連：字下げ ／ 配置の組み合わせ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

081 / end

地付き（行）

各行の末尾を行末側に揃えます。

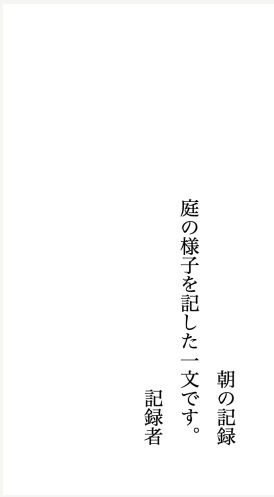
入力例

```
［＃ここから地付き］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで地付き終わり］
```

入力構文

```
［＃ここから地付き］
本文
［＃ここで地付き終わり］／［＃地付き］本文（1行）
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.end-aligned。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（3例）

```
［＃地付き］朝の記録
```

```
［＃ここから地付き］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで地付き終わり］
```

```
［＃ここから地付き］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで字上げ終わり］
```

関連：字下げ ／ 配置の組み合わせ ／ 地付き揃え

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

082 / raise

地から字上げ（行）

行末に2字分の余白を残して末尾を揃えます。

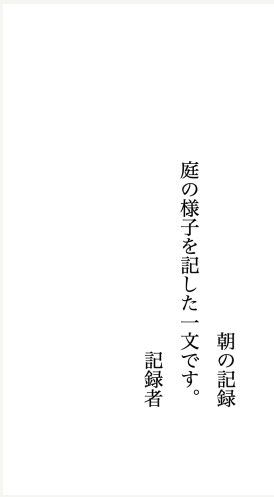
入力例

```
［＃ここから地から2字上げ］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで字上げ終わり］
```

入力構文

```
［＃ここから地から2字上げ］
本文
［＃ここで字上げ終わり］／［＃地から2字上げ］本文（1行）
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.end-aligned。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（3例）

```
［＃地から2字上げ］朝の記録
```

```
［＃ここから地から２字上げ］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで字上げ終わり］
```

```
［＃ここから地から2字上げ］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで地付き終わり］
```

関連：字下げ ／ 配置の組み合わせ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

083 / box

罫囲み（ブロック）

複数の段落を一つの罫線で囲みます。

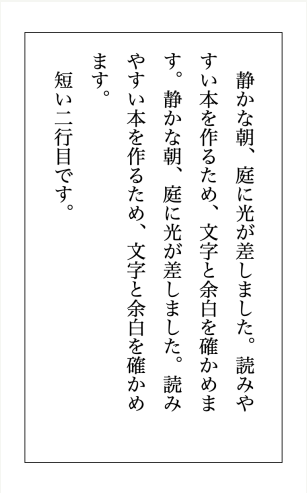
入力例

```
［＃ここから罫囲み］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い二行目です。
［＃ここで罫囲み終わり］
```

入力構文

```
［＃ここから罫囲み］
本文
［＃ここで罫囲み終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.boxed-block。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。

関連：字下げ ／ 配置の組み合わせ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

084 / horizontal-block

横組み（ブロック）

まとまった段落を横組みに切り替えます。

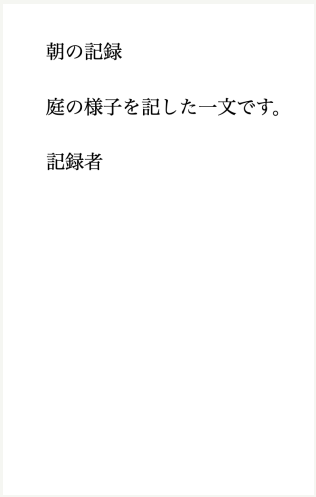
入力例

```
［＃ここから横組み］
朝の記録
庭の様子を記した一文です。
記録者
［＃ここで横組み終わり］
```

入力構文

```
［＃ここから横組み］
本文
［＃ここで横組み終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.horizontal-block。論理方向のmargin/padding、inline-size、text-indent、text-align等で配置。

縦書き・横書き

縦書きでは天=上・地=下。横書きでは行頭=左・行末=右。横組み指定の内部はhorizontal-tbです。

使用上の注意・範囲 開始・終了はそれぞれ単独行。内側の配置を先に閉じます。配置の終端は「終わり」を用い、「終り」は構造形式では使用しません。字数は半角・全角の0〜65535（字詰めは1以上）。横書きの本文では方向の変化はありません。行内指定とは範囲の作り方が異なります。

関連：字下げ ／ 配置の組み合わせ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

085 / indent-continuous

終了を省略する連続字下げ

対応する終端を持たない字下げを、次の字下げ開始で切り替えます。

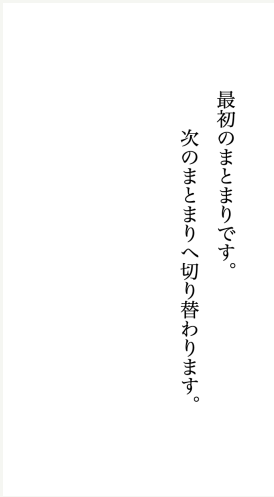
入力例

```
［＃ここから2字下げ］
最初のまとまりです。
［＃ここから4字下げ］
次のまとまりへ切り替わります。
［＃ここで字下げ終わり］
```

入力構文

```
［＃ここから2字下げ］
最初のまとまりです。
［＃ここから4字下げ］
次のまとまりへ切り替わります。
［＃ここで字下げ終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

事前に開始・終了を照合し、未対応の字下げ枠を次の互換枠で閉じます。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 新規原稿では明示終了を推奨。明示的に対になる開始は入れ子として保持。字下げ・凸凹・連結配置の切替だけを対象とし、罫囲みなどは省略しません。

関連：字下げ ／ 凸凹字下げ ／ 配置の組み合わせ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:231

配置

086 / align-start

左揃え

指定範囲の文字揃えを変更します。

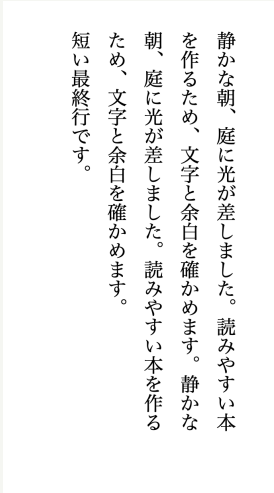
入力例

［＃ここから左揃え］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い最終行です。
［＃ここで左揃え終わり］

入力構文

［＃ここから左揃え］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い最終行です。
［＃ここで左揃え終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.text-aligned の text-align:start。

縦書き・横書き

縦書きの左揃えは上、右揃えは下。横書きでは左と右。中央・両端は行の文字方向に沿います。

使用上の注意・範囲 独自拡張。字下げとの併用は別の入れ子注記で指定。両端揃えは折り返した行を揃え、最終行は行頭側。短い1行では差が小さいことがあります。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

［＃左揃え］静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

関連：字下げ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

087 / align-end

右揃え

指定範囲の文字揃えを変更します。

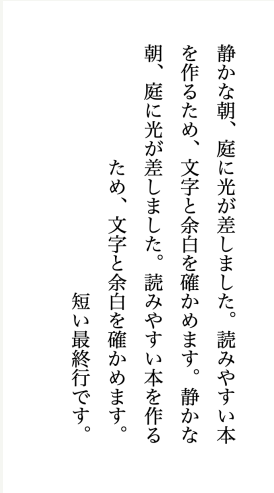
入力例

［＃ここから右揃え］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い最終行です。
［＃ここで右揃え終わり］

入力構文

［＃ここから右揃え］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い最終行です。
［＃ここで右揃え終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.text-aligned の text-align:end。

縦書き・横書き

縦書きの左揃えは上、右揃えは下。横書きでは左と右。中央・両端は行の文字方向に沿います。

使用上の注意・範囲 独自拡張。字下げとの併用は別の入れ子注記で指定。両端揃えは折り返した行を揃え、最終行は行頭側。短い1行では差が小さいことがあります。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

［＃右揃え］静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

関連：字下げ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

088 / align-center

中央揃え

指定範囲の文字揃えを変更します。

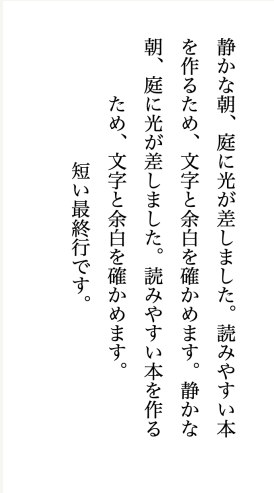
入力例

```
［＃ここから中央揃え］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い最終行です。
［＃ここで中央揃え終わり］
```

入力構文

```
［＃ここから中央揃え］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い最終行です。
［＃ここで中央揃え終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.text-aligned の text-align:center。

縦書き・横書き

縦書きの左揃えは上、右揃えは下。横書きでは左と右。中央・両端は行の文字方向に沿います。

使用上の注意・範囲 独自拡張。字下げとの併用は別の入れ子注記で指定。両端揃えは折り返した行を揃え、最終行は行頭側。短い1行では差が小さいことがあります。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［＃中央揃え］静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

関連：字下げ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

089 / align-justify

両端揃え

指定範囲の文字揃えを変更します。

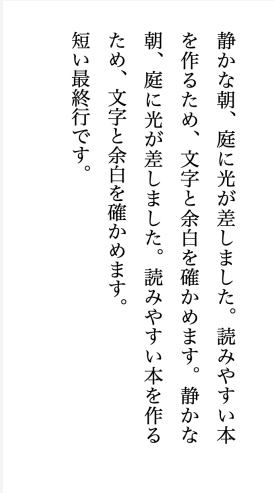
入力例

```
［＃ここから両端揃え］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い最終行です。
［＃ここで両端揃え終わり］
```

入力構文

```
［＃ここから両端揃え］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
短い最終行です。
［＃ここで両端揃え終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.text-aligned の text-align:justify。

縦書き・横書き

縦書きの左揃えは上、右揃えは下。横書きでは左と右。中央・両端は行の文字方向に沿います。

使用上の注意・範囲 独自拡張。字下げとの併用は別の入れ子注記で指定。両端揃えは折り返した行を揃え、最終行は行頭側。短い1行では差が小さいことがあります。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［＃両端揃え］静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

関連：字下げ ／ 地付き揃え ／ 地付き（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:142

配置

090 / inline-end

行中の地付き・字上げ

同じ原稿行の途中から、後半だけを行末側に配置します。

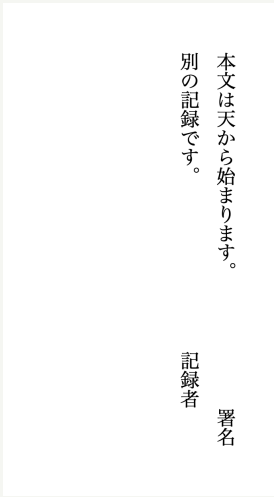
入力例

```
本文は天から始まります。［＃地付き］署名
別の記録です。［＃地から2字上げ］記録者
```

入力構文

```
前半本文［＃地付き］後半／前半本文［＃地からN字上げ］後半
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

p.has-inline-end の後半を span.inline-end と float:inline-end へ。字上げは行末余白。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 1行に1個、後半が空は不可。後半は同じ段落に残ります。割り注・同行・窓見出しの中、ルビが境界をまたぐ形式は未対応。単独行の地付き・行頭の地付きとは区別してください。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
本文［＃地から２字上げ］署名
```

関連：地付き（行） ／ 地から字上げ（行）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline.rs:25

配置

091 / separator-0

区切り線（実線）

本文を区切る実線を行長方向に置きます。

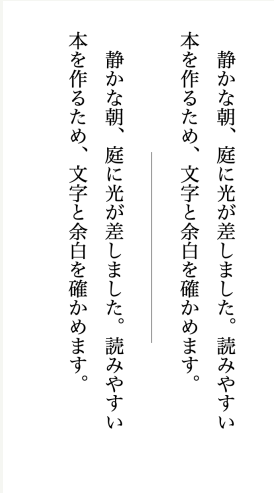
入力例

静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃区切り線、実線、10字］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

入力構文

静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃区切り線、実線、10字］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

hr.separator.separator-solid。border-block-startとinline-size:10em。

縦書き・横書き

縦書きは縦線、横書きは横線。

使用上の注意・範囲 独自拡張。単独行。長さ1〜65535字、半角・全角可。利用可能な行長に収めます。見出し・継続装飾の内側では構造注記として扱いません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃区切り線、実線、１０字］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

関連：罫囲み（ブロック） ／ 改ページ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/block_notes.rs:121

配置

092 / separator-1

区切り線（破線）

本文を区切る破線を行長方向に置きます。

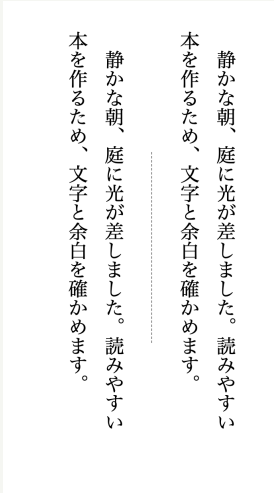
入力例

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃区切り線、破線、10字］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

入力構文

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃区切り線、破線、10字］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

hr.separator.separator-dashed。border-block-startとinline-size:10em。

縦書き・横書き

縦書きは縦線、横書きは横線。

使用上の注意・範囲 独自拡張。単独行。長さ1〜65535字、半角・全角可。利用可能な行長に収めます。見出し・継続装飾の内側では構造注記として扱いません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃区切り線、破線、１０字］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

関連：罫囲み（ブロック） ／ 改ページ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/block_notes.rs:121

配置

093 / separator-2

区切り線（点線）

本文を区切る点線を行長方向に置きます。

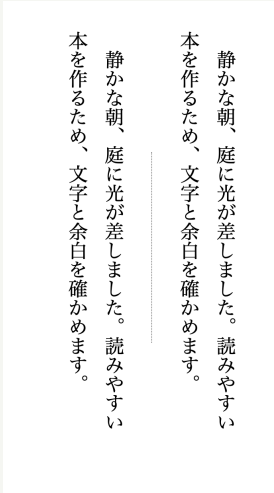
入力例

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃区切り線、点線、10字］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

入力構文

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃区切り線、点線、10字］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

hr.separator.separator-dotted。border-block-startとinline-size:10em。

縦書き・横書き

縦書きは縦線、横書きは横線。

使用上の注意・範囲 独自拡張。単独行。長さ1〜65535字、半角・全角可。利用可能な行長に収めます。見出し・継続装飾の内側では構造注記として扱いません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃区切り線、点線、１０字］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

関連：罫囲み（ブロック） ／ 改ページ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/block_notes.rs:121

配置

094 / page-center

ページの左右中央

扉などの文章のまとまりを左右中央に配置します。

入力例

［＃ページの左右中央］
朝の庭［＃中見出し］
静かな朝の記録
［＃改ページ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

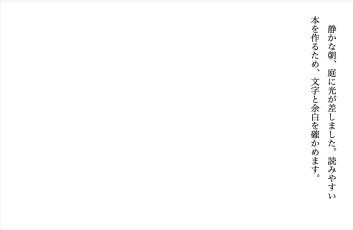
入力構文

［＃ページの左右中央］
朝の庭［＃中見出し］
静かな朝の記録
［＃改ページ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを共有プレビューで分割した最初のページ。／クリックで拡大



共通プレビュー分割処理での次ページ／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

div.page-centered / page-centered-content。flexによる中央配置。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 配置注記の外側で単独行に置きます。改ページ・改丁・改見開き・章境界・フォームフィード・文末で閉じます。「左右中央終わり」という終了はありません。画面寸法に応じた配置で、組版ページの厳密な寸法保証ではありません。

関連：改ページ ／ 画像を使った章扉

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/layout.rs:70

割り注・訓点

095 / warichu

割り注（自動分割）

小さな二行の補足を本文の列内に入れます。

入力例

本文の途中に（[＃割り注］本書および続刊の『庭の記録』についての説明［＃割り注終わり]）を挟み、本文へ戻ります。

入力構文

本文の途中に（[＃割り注］本書および続刊の『庭の記録』についての説明［＃割り注終わり]）を挟み、本文へ戻ります。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.warichu / warichu-content / warichu-line。50%の二行をinline-gridで本文の中心へ配置。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 入れ子やルビとの交差は小文字表示へ切り替え、診断します。内部に収まるルビ・太字は利用可。ルビの親文字や結合文字を分断しないよう分割。括弧は必要なら本文に入力します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

補足［＃「補足」に割り注］を読みます。

［＃ここから割り注］補足説明［＃ここで割り注終わり］

関連：割り注の明示改行 ／ 行右小書き

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline.rs:133

割り注・訓点

096 / warichu-break

割り注の明示改行

割り注を二行に分ける位置を手動指定します。

入力例

本文の途中に（[＃割り注］第一の説明［＃改行］第二の説明［＃割り注終わり]）を置きます。

入力構文

本文の途中に（[＃割り注］第一の説明［＃改行］第二の説明［＃割り注終わり]）を置きます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

割り注内の改行を二つのwarichu-lineへ変換。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲　［＃改行］は割り注内だけで使います。多数の改行や複雑な交差は小文字フォールバックの原因。通常の本文の改行には実際の改行を入力します。

関連：割り注（自動分割）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline.rs:133

割り注・訓点

097 / kaeriten

返り点

漢字の直後に返り点を添えます。

入力例

```
不［＃レ］知［＃二］其心［＃一］。
```

入力構文

```
漢字［＃レ］など
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

ゼロ幅アンカーをspan.kunten内のsub.kaeritenへ変換。font-size:50%。

縦書き・横書き

縦横とも小文字をグリッドに重ね、返り点は行左／下側の位置に配置。厳密な漢文活字の組版保証ではありません。

使用上の注意・範囲 直前の漢字（漢字直後の-、画像外字も可）に付けます。同じ位置に同種2個は不可。送り仮名と併記するときは送り仮名を先に。受理する値：レ・一・二・三・四・上・中・下・甲・乙・丙・丁・天・地・人・一レ・上レ。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（17例）

```
不［＃レ］知。
不［＃一］知。
不［＃二］知。
不［＃三］知。
不［＃四］知。
不［＃上］知。
不［＃中］知。
不［＃下］知。
不［＃甲］知。
不［＃乙］知。
不［＃丙］知。
```

```
不［＃丁］知。
不［＃天］知。
不［＃地］知。
不［＃人］知。
不［＃一レ］知。
不［＃上レ］知。
```

関連：訓点送り仮名 ／ 送り仮名と返り点の併記

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/kunten.rs:19

割り注・訓点

098 / okurigana

訓点送り仮名

漢字の右側に小さな送り仮名を添えます。

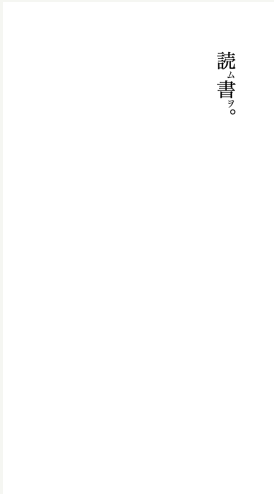
入力例

```
読［＃（ム）］書［＃（ヲ）］。
```

入力構文

```
漢字［＃（送り仮名）］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

span.kunten内のsup.okurigana。font-size:50%。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 値は空不可。漢字・ひらがな・カタカナと仮名の付属記号の組み合わせ。括弧は全角。再読文字の第二の訓など任意の訓点体系を自動生成しません。

関連：返り点 ／ 送り仮名と返り点の併記

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/kunten.rs:53

割り注・訓点

099 / kunten-both

送り仮名と返り点の併記

同じ親文字に送り仮名と返り点を添えます。

入力例

```
読［＃（ム）］［＃レ］書。
```

入力構文

```
読［＃（ム）］［＃レ］書。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

同じkunten要素のsup / subへまとめます。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 送り仮名→返り点の順に置きます。逆順・同種重複・親文字がない場合は注記を残し診断。訓点アンカーを途中に含む一つのルビ範囲は使えません。

関連：返り点 ／ 訓点送り仮名

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/kunten.rs:63

画像

100 / image

挿絵・図

本文へ画像を参照させ、独立した画像ページを作ります。

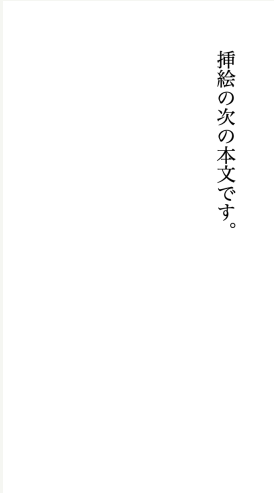
入力例

本文の次に挿絵を置きます。
［＃挿絵（garden.png）入る］
挿絵の次の本文です。

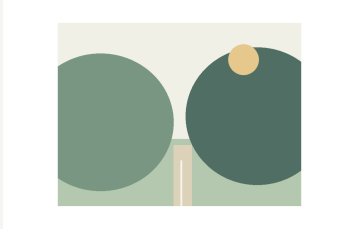
入力構文

本文の次に挿絵を置きます。
［＃挿絵（garden.png）入る］
挿絵の次の本文です。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの画像ページ（実装により横組み）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

Illustration → figure / img。EPUBでは画像用の横組みXHTMLへ分割しspineへ追加。

縦書き・横書き

書籍が縦書きでも画像ページは横組み。本文の縦書き表示と実際の画像ページを比較掲載します。

使用上の注意・範囲 PNG・JPEG・GIFを用意。相対パスの各要素は半角英数字 _ - .、区切りは/。絶対パス・..・空要素・日本語名・外部URLは不可。原稿中の途中に置くと前後の本文を分割します。寸法指定をレイアウト値へ反映する機能ではありません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（4例）

［＃図（garden.png）入る］

［＃図（garden.png)］

［＃（garden.png）入る］

［＃挿絵（garden.png）］

関連：説明付き画像 ／ 画像に付けるキャプション ／ 画像を使った章扉

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/block_notes.rs:4

画像

101 / image-description

説明付き画像

画像の説明を代替テキストとして保持します。

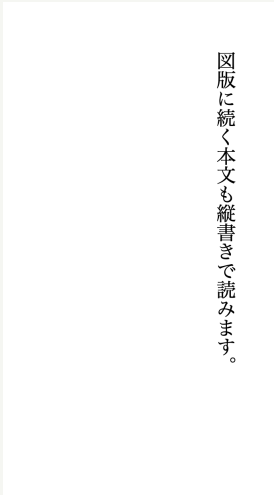
入力例

縦書きの本文から図版へ進みます。
［＃朝の庭の写真（garden.png、横800×縦600）入る］
図版に続く本文も縦書きで読みます。

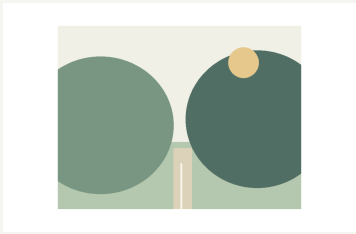
入力構文

［＃説明文＋図など（path、横N×縦N）入る］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの画像ページ（実装により横組み）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

図・絵・挿絵・表・写真で終わる説明（末尾数字可）をimgのaltへ。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 横N×縦Nの寸法は半角の正整数。寸法は入力の妥当性確認用で、表示の固定サイズになりません。説明内のルビ・HTMLは解釈せず、安全でない形式は診断します。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

［＃庭の図1（garden.png）入る］

［#「庭の説明」のキャプション付きの図（garden.png）入る］

関連：挿絵・図 ／ 単独行キャプション

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/block_notes.rs:4

画像

102 / image-html

imgタグによる画像参照

既存のimg形式の画像参照を取り込みます。

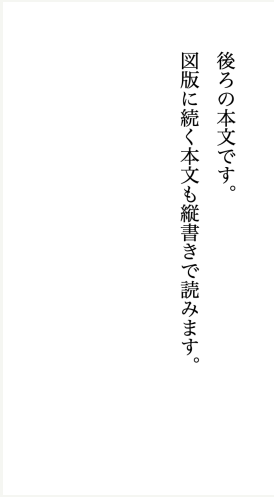
入力例

縦書きの本文から図版へ進みます。
前の本文です。後ろの本文です。
図版に続く本文も縦書きで読みます。

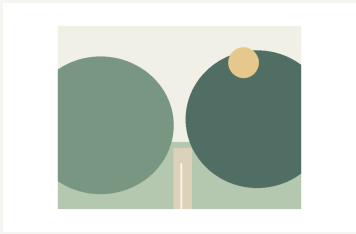
入力構文

前の本文です。後ろの本文です。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの画像ページ（実装により横組み）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

属性のsrcとaltを読み、通常のIllustrationへ。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 汎用HTMLの挿入機能ではありません。属性値は引用符で囲む。src重複や外部URLは不可。他のHTMLは本文文字として扱います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
<img alt='朝の庭' src='garden.png'>
```

関連：挿絵・図

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/block_notes.rs:4

画像

103 / caption-inline

画像に付けるキャプション

挿絵と同じページに説明文を添えます。

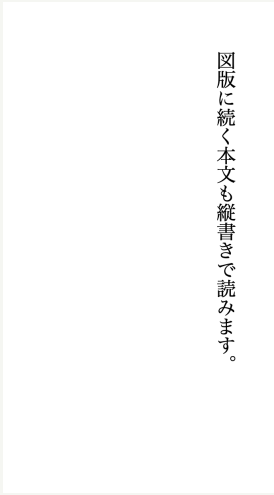
入力例

```
縦書きの本文から図版へ進みます。
［＃図（garden.png）入る：朝の庭／制作サンプル］
図版に続く本文も縦書きで読みます。
```

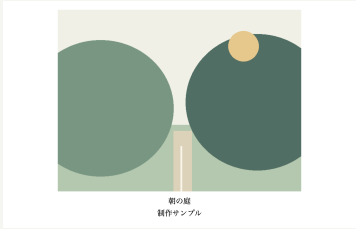
入力構文

```
［＃図（garden.png）入る：朝の庭／制作サンプル］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの画像ページ（実装により横組み）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

figure内のfigcaptionへ。全角／はbrへ変換。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 独自拡張。最初の全角：が本文との区切り。説明は文字列であり注記・ルビを再解析しません。説明に／をそのまま表示するエスケープは未定義。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

［＃挿絵（garden.png）：朝の庭／制作サンプル］

関連：挿絵・図 ／ 単独行キャプション

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/block_notes.rs:4

画像

104 / caption-standalone

単独行キャプション

ルビや装飾を含む説明行を作ります。

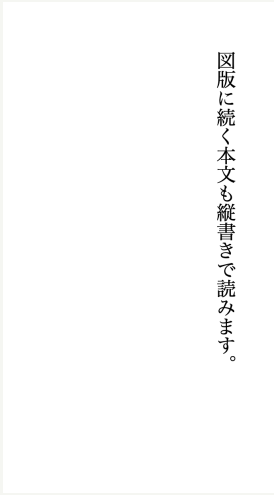
入力例

縦書きの本文から図版へ進みます。
［＃図（garden.png）入る］
［＃キャプション］朝の｜庭《にわ》を記録します。［＃キャプション終わり］
図版に続く本文も縦書きで読みます。

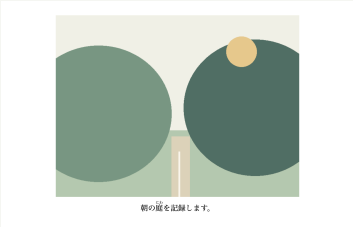
入力構文

［＃図（garden.png）入る］
［＃キャプション］朝の｜庭《にわ》を記録します。［＃キャプション終わり］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの画像ページ（実装により横組み）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

p.caption。直前の画像へ続くキャプションは同じ画像ページへまとめます。

縦書き・横書き

キャプション自体は横組み。縦書き本文中でも横組みの説明になります。

使用上の注意・範囲 一行全体を囲む形式。前方参照は行の表示文字全体が一致する場合だけ。一部分だけの前方参照は未対応。複数行は別項の「ここからキャプション」を使います。画像の代替説明altとは異なります。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

朝の庭の説明［＃「朝の庭の説明」はキャプション］

関連：画像に付けるキャプション ／ 挿絵・図 ／ 複数行キャプション

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/block_notes.rs:104

画像

105 / title-page

画像を使った章扉

章の目次と画像による扉を同時に作ります。

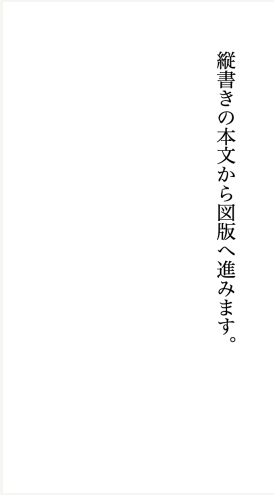
入力例

縦書きの本文から図版へ進みます。
［＃章扉（garden.png）：第一章／朝の庭］
［＃改ページ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
図版に続く本文も縦書きで読みます。

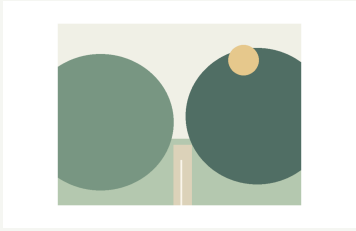
入力構文

［＃章扉（garden.png）：第一章／朝の庭］
［＃改ページ］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの画像ページ（実装により横組み）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

SectionStartの画像を独立横組みページへ。navのリンク先も画像側へ調整。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 独自拡張・単独行。章名は目次と代替テキストに使用し、画像上へ自動で重ねません。直後の単独改ページの重複は描画時に抑止。明示した連続改ページや空行まで一律削除しません。

関連：章・節・項 ／ 挿絵・図 ／ ページの左右中央

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/block_notes.rs:137

画像

125 / caption-multiline

複数行キャプション

改行や空行、ルビ・装飾を保った複数行の説明を作ります。

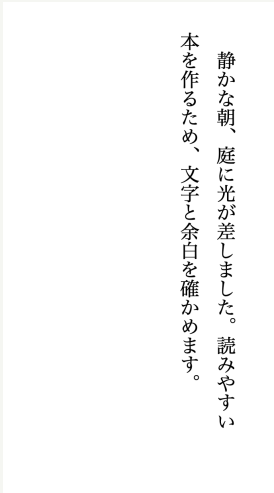
入力例

```
庭の写真と説明を見比べます。
［＃図（garden.png）入る］
［＃ここからキャプション］
朝の｜庭《にわ》を記録しました。

［＃太字］光と木陰［＃太字終わり］が重なる場所です。
［＃ここでキャプション終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

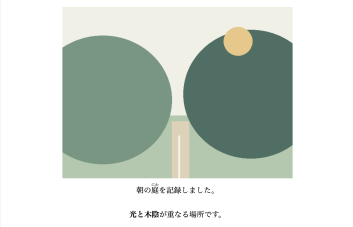
入力構文

```
庭の写真と説明を見比べます。
［＃図（garden.png）入る］
［＃ここからキャプション］
朝の｜庭《にわ》を記録しました。

［＃太字］光と木陰［＃太字終わり］が重なる場所です。
［＃ここでキャプション終わり］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの画像ページ（実装により横組み）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

CaptionGroup内の各Captionを横組み85%・字下げ0のp.captionへ。直前の画像・章扉へ空行だけを挟んで続けば同じ画像XHTMLへまとめます。

縦書き・横書き

本が縦書きでも説明部分は横組み。改行・空行を保持し、本文より小さく表示します。

使用上の注意・範囲 開始・終了を独立した行に置き、必ず同じ種類で閉じます。範囲の入れ子、空本文、閉じ忘れ、見出し範囲内は未対応。章・改ページ・配置・見出し・注定義等の構造境界をまたぎません。不正範囲は開始位置の診断と元の注記を残します。内部の文字装飾は範囲内で釣り合うように閉じてください。 通常の本文や明示的な改ページを越えて前の画像には付きません。本文中に単独でも使えますが、範囲内へ通常の挿絵は入れません。グループ途中でアプリの分割をしない指定であり、長文の読書端末上の物理改ページを禁止するものではありません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［＃ここからキャプション］
一行目の説明です。
二行目の説明です。
［＃ここでキャプション終わり］
```

関連：単独行キャプション ／ 画像に付けるキャプション ／ 挿絵・図

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline_scopes.rs:109

外字・特殊文字

106 / gaiji-unicode

Unicode指定の外字

コードが明示された外字をUnicode文字へ変換します。

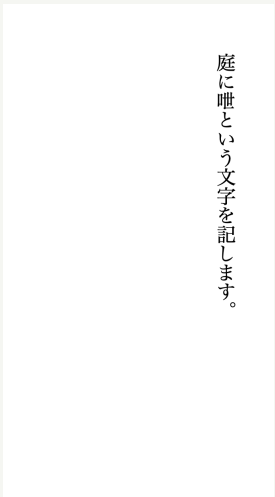
入力例

```
庭に※［＃「口＋世」、U+546D、135-7］という文字を記します。
```

入力構文

```
※［＃説明、U+XXXX（、出典位置）］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

※と注記を一つのUnicode文字に置換。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 説明文から字形を推測しません。U+の後は半角16進4〜6桁。制御文字・私用領域・単独の異体字セレクタ・非文字等は除外。フォントに字形がなければ表示不能です。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（2例）

※［＃説明、U+546D］

※［＃説明、U+546d、135-上-7］

関連：JIS X 0213面区点外字 ／ 画像外字

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/gaiji.rs:9

外字・特殊文字

107 / gaiji-jis

JIS X 0213面区点外字

固定したJIS X 0213:2004標準対応表のコードをUnicode列に変換します。

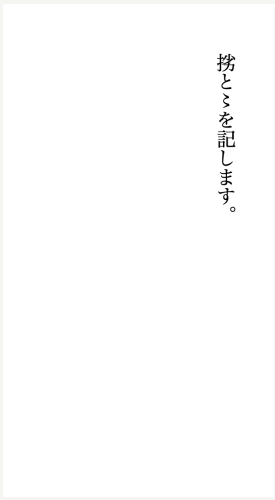
入力例

※［＃「てへん＋劣」、第3水準1-84-77］と※［＃二の字点、1-2-22］を記します。

入力構文

※［＃「てへん＋劣」、第3水準1-84-77］と※［＃二の字点、1-2-22］を記します。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

jisx0213_table.rsの11,233位置から標準Unicode列を取得。結合文字列も保持。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 面は1または2、区・点は1〜94。第3水準の接頭辞は面1、第4水準は面2と一致させます。予約・未収録位置は未解決として残します。Windows独自の代替値を推測しません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（3例）

※［＃説明、1-84-77］

※［＃説明、第4水準2-1-1］

※［＃説明、1-84-77、135-8］

関連：Unicode指定の外字

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　jisx0213.rs:4

外字・特殊文字

108 / gaiji-image

画像外字

文字として用意できない字形を、行内の1字画像として表示します。

入力例

本文の※［＃画像外字（gaiji.png）：星印］を読みます。

入力構文

本文の※［＃画像外字（gaiji.png）：星印］を読みます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

img.gaiji。width / height:1em; object-fit:contain。

縦書き・横書き

縦書きでは画像外字の中心を中央基線に合わせます。横書き・横組み・表・キャプションではmiddleの揃えを維持します。

使用上の注意・範囲 独自拡張。代替文字列は必須で、[]《》・制御文字は不可。画像パスの安全規則とPNG/JPEG/GIFの制約あり。自動で外字画像を検索・生成しません。画像不足ではEPUB出力を停止。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

本文の｜※［＃画像外字（gaiji.png）：星］《ほし》を読みます。

関連：挿絵・図 ／ Unicode指定の外字

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/gaiji.rs:60

外字・特殊文字

109 / accent

アクセント分解

青空文庫のアクセント分解記法をUnicodeのラテン文字へ置き換えます。

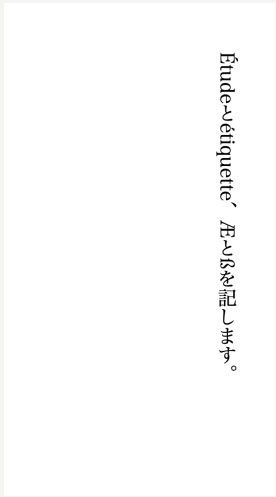
入力例

〔E'tude〕と〔e'tiquette〕、〔AE&〕と〔s&〕を記します。

入力構文

〔分解記法を含むASCII文字列〕

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

accents.rsの固定対応表で最長一致。文字列をUnicodeへ変換。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲　〔〕の範囲は同じ行のASCII可視文字。< > |は禁止。入れ子・未終了・不正範囲は原文を残して診断。未掲載コードから大文字等を推測しません。下の全対応表と実変換試験を参照。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（114例）

114対応すべてを一つずつ変換して検証しました。アクセント全対応表の各コードを〔〕で囲んだ形が入力例です。

関連：範囲を明示するルビ ／ Unicode指定の外字

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　accents.rs:130

外字・特殊文字

110 / iteration

くの字点（清音）

二字分のくの字点を一つの論理文字として扱います。

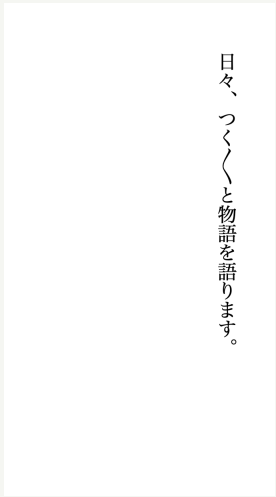
入力例

日々、つく／＼と物語を語ります。

入力構文

日々、つく／＼と物語を語ります。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

論理文字　をspan.iteration-mark内の / ＼として描画。縦方向2em。

縦書き・横書き

横書き本文の中でも字形部分はvertical-rlの二字縦組みを保ちます。

使用上の注意・範囲 原稿の別表記を同じ論理文字へまとめます。ルビや装飾を後から付けるときも一文字として扱います。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（3例）

つく／＼と語ります。

つく　と語ります。

つく※［#くの字点、U+3031］と語ります。

関連：くの字点（濁音）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline.rs:39

外字・特殊文字

111 / iteration-voiced

くの字点（濁音）

濁点付きのくの字点を二字分で表示します。

入力例

人々は、さま／″＼の思いを語ります。

入力構文

人々は、さま／″＼の思いを語ります。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

論理文字　を 〳〵 として描画。

縦書き・横書き

横書きでも字形部分は縦組み。

使用上の注意・範囲 清音と同じ扱い。／″＼の中央は二重プライムの記号です。字形はフォントに依存。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（3例）

さま 〳〵 の思いです。

さま　の思いです。

さま※［＃くの字点、U+3032］です。

関連：くの字点（清音）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline.rs:39

外字・特殊文字

112 / literal-brackets

ルビ括弧の文字表示

《》をルビと解釈させず、文字として表示します。

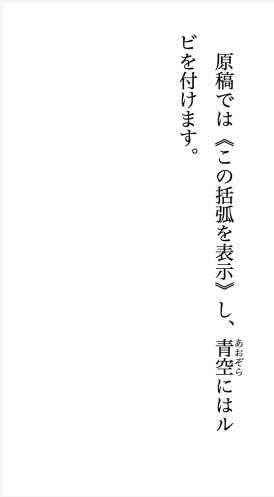
入力例

原稿では《《この括弧を表示》》し、青空《あおぞら》にはルビを付けます。

入力構文

原稿では《《この括弧を表示》》し、青空《あおぞら》にはルビを付けます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

《《…》》を《…》へ置換。内部はリテラルとして保持。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 独自拡張。外側の括弧を二重にし、同じ行で閉じます。内部を装飾注記や画像として再解釈しません。

関連：範囲を明示するルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline.rs:133

校訂

113 / editorial-correction

本文の訂正注記

底本の表記や読みについて、訂正内容・疑義を記録します。

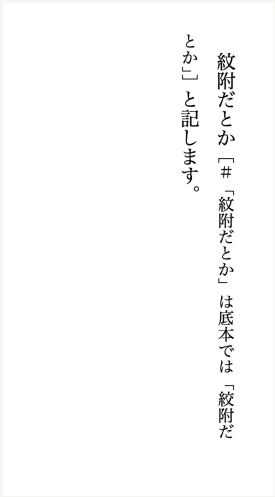
入力例

紋附だとか［＃「紋附だとか」は底本では「絞附だとか」］と記します。

入力構文

紋附だとか［＃「紋附だとか」は底本では「絞附だとか」］と記します。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

注記そのものをspan.notesへ入れ、文字として本文に残します。小さめの文字で表示。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 自動で語句を訂正する機能ではありません。訂正後の文字を本文に入力します。対象は同じ行の前方に存在する本文またはルビの読み。引用の入れ子や空の対象は不可。

関連：ルビとして添えるママ ／ 前方参照ルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/editorial.rs:19

校訂

114 / editorial-mama

本文のママ注記

底本の表記や読みについて、訂正内容・疑義を記録します。

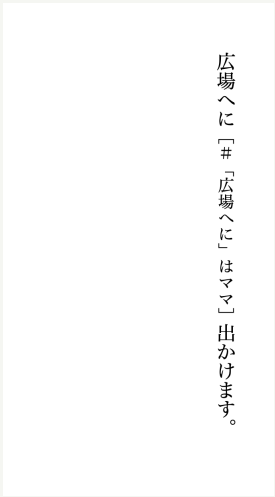
入力例

```
広場へに［#「広場へに」はママ］出かけます。
```

入力構文

```
広場へに［#「広場へに」はママ］出かけます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

注記そのものをspan.notesへ入れ、文字として本文に残します。小さめの文字で表示。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 自動で語句を訂正する機能ではありません。訂正後の文字を本文に入力します。対象は同じ行の前方に存在する本文またはルビの読み。引用の入れ子や空の対象は不可。

関連：ルビとして添えるママ ／ 前方参照ルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/editorial.rs:19

校訂

115 / editorial-ruby-correction

ルビの訂正注記

底本の表記や読みについて、訂正内容・疑義を記録します。

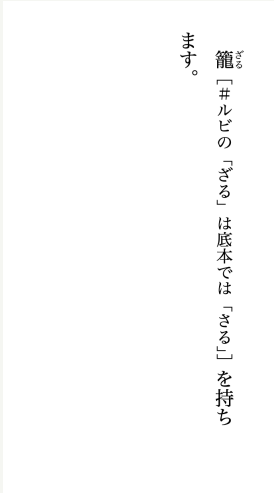
入力例

```
籠《ざる》［＃ルビの「ざる」は底本では「さる」］を持ちます。
```

入力構文

```
籠《ざる》［＃ルビの「ざる」は底本では「さる」］を持ちます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

注記そのものをspan.notesへ入れ、文字として本文に残します。小さめの文字で表示。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 自動で語句を訂正する機能ではありません。訂正後の文字を本文に入力します。対象は同じ行の前方に存在する本文またはルビの読み。引用の入れ子や空の対象は不可。

関連：ルビとして添えるママ ／ 前方参照ルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/editorial.rs:19

校訂

116 / editorial-ruby-mama

ルビのママ注記

底本の表記や読みについて、訂正内容・疑義を記録します。

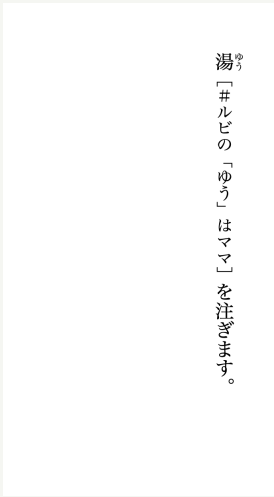
入力例

湯《ゆう》［＃ルビの「ゆう」はママ］を注ぎます。

入力構文

湯《ゆう》［＃ルビの「ゆう」はママ］を注ぎます。

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

注記そのものをspan.notesへ入れ、文字として本文に残します。小さめの文字で表示。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 自動で語句を訂正する機能ではありません。訂正後の文字を本文に入力します。対象は同じ行の前方に存在する本文またはルビの読み。引用の入れ子や空の対象は不可。

関連：ルビとして添えるママ ／ 前方参照ルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/editorial.rs:19

校訂

117 / mama-ruby

ルビとして添えるママ

対象の側にママをルビ状に添えます。

入力例

```
吹喋［＃「喋」に「ママ」の注記］と記します。
```

入力構文

```
吹喋［＃「喋」に「ママ」の注記］と記します。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

前方参照ルビと同じruby / rtへ変換。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲　「はママ」は注記全文が本文に残ります。「に『ママ』の注記」は読みとして表示します。両者を区別してください。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
吹喋［＃「喋」の左に「ママ」の注記］と記します。
```

関連：本文のママ注記 ／ 前方参照ルビ

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline/ruby.rs:67

脚注・文末注

118 / footnote

脚注

本文の参照番号とリンクする脚注を作ります。

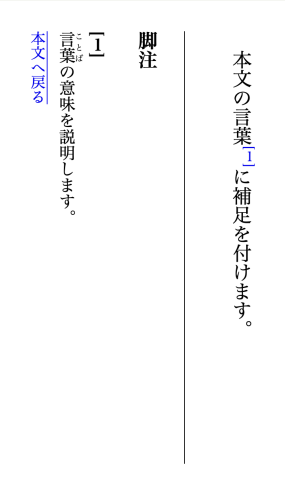
入力例

```
本文の言葉［＃注参照：n1］に補足を付けます。
［＃ここから脚注：n1］
言葉《ことば》の意味を説明します。
［＃ここで脚注終わり］
```

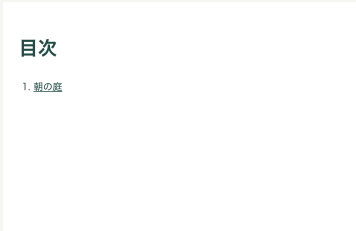
入力構文

```
本文［＃注参照：ID］
［＃ここから脚注：ID］
注本文
［＃ここで脚注終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

a.note-ref（epub:type=noteref）、脚注はaside、文末注はendnotes/list構造内のdiv（epub:type=endnote、role=listitem）。戻りリンクを生成。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 独自拡張。IDはASCII英数字 _ - の1〜64バイトで本全体で一意。番号は初出の参照順。同じIDへの複数参照可。注本文は通常の段落・ルビ・装飾に限定し、画像・章・配置・見出し・注の入れ子は不可。EPUBの脚注は各参照元の章末尾（再参照時は同じ番号の表示先を分ける）、文末注は本の末尾へ集めます。画面の物理ページ下端に固定する機能ではありません。自動の注番号も縦書きでは1〜3桁を縦中横、4桁以上を各桁正立にします。戻りリンクは一つの「本文へ戻る」です。

関連：注参照・再参照 ／ 文末注

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　notes.rs:63

脚注・文末注

119 / endnote

文末注

本文の参照番号とリンクする文末注を作ります。

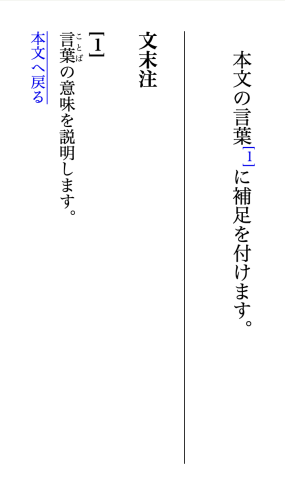
入力例

```
本文の言葉［＃注参照：n1］に補足を付けます。
［＃ここから文末注：n1］
言葉《ことば》の意味を説明します。
［＃ここで文末注終わり］
```

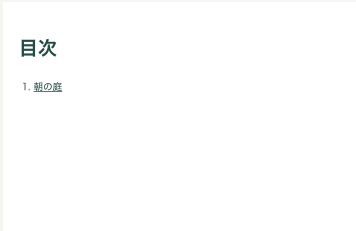
入力構文

```
本文［＃注参照：ID］
［＃ここから文末注：ID］
注本文
［＃ここで文末注終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

a.note-ref（epub:type=noteref）、脚注はaside、文末注はendnotes/list構造内のdiv（epub:type=endnote、role=listitem）。戻りリンクを生成。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 独自拡張。IDはASCII英数字 _ - の1〜64バイトで本全体で一意。番号は初出の参照順。同じIDへの複数参照可。注本文は通常の段落・ルビ・装飾に限定し、画像・章・配置・見出し・注の入れ子は不可。EPUBの脚注は各参照元の章末尾（再参照時は同じ番号の表示先を分ける）、文末注は本の末尾へ集めます。画面の物理ページ下端に固定する機能ではありません。自動の注番号も縦書きでは1〜3桁を縦中横、4桁以上を各桁正立にします。戻りリンクは一つの「本文へ戻る」です。

関連：注参照・再参照 ／ 脚注

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　notes.rs:63

脚注・文末注

120 / note-reference

注参照・再参照

一つの注を何度も参照します。

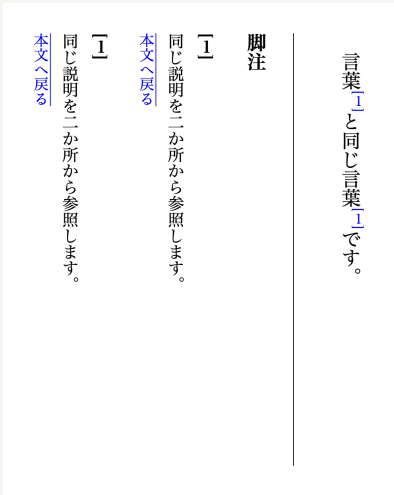
入力例

```
言葉［＃注参照：n1］と同じ言葉［＃注参照：n1］です。
［＃ここから脚注：n1］
同じ説明を二か所から参照します。
［＃ここで脚注終わり］
```

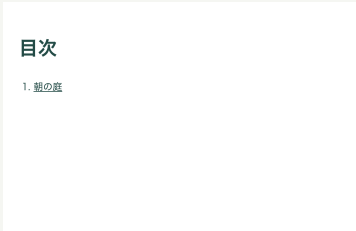
入力構文

```
言葉［＃注参照：n1］と同じ言葉［＃注参照：n1］です。
［＃ここから脚注：n1］
同じ説明を二か所から参照します。
［＃ここで脚注終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



実EPUBの目次。リンク先を生成済み／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

同じ注番号を保ち、EPUBでは参照元ごとに注の表示先を生成し、それぞれ一つの「本文へ戻る」リンクから開いた参照元へ戻します。原稿・保存用Bookの注定義は一つです。プレビューは共有注の戻り先を開いた参照元に合わせます。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 定義のない参照は原文と診断を残します。未参照の注も診断し巻末に残します。ルビ・割り注・同行／窓見出しと交差する参照は未対応。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［＃章：一］
最初の説明［＃注参照：n1］です。
［＃章：二］
次の説明［＃注参照：n1］です。
［＃ここから脚注：n1］
共有する補足です。
［＃ここで脚注終わり］
```

関連：脚注 ／ 文末注

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　notes.rs:236

リスト・表

126 / list-unordered

箇条書き

一行を一項目とする箇条書きを作ります。

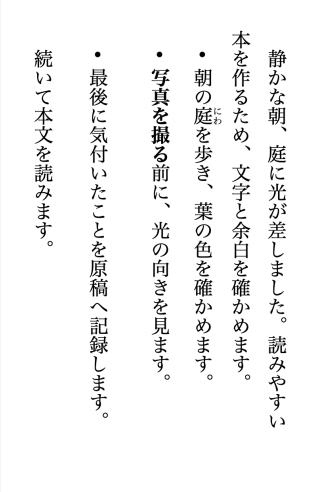
入力例

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃ここから箇条書き］
朝の｜庭《にわ》を歩き、葉の色を確かめます。
［＃太字］写真を撮る［＃太字終わり］前に、光の向きを見ます。

最後に気付いたことを原稿へ記録します。
［＃ここで箇条書き終わり］
続いて本文を読みます。
```

入力構文

```
［＃ここから箇条書き］
項目の1行目
項目の2行目
［＃ここで箇条書き終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

ul内のli。通常段落の1em字下げを付けず、折り返しは項目本文にそろえます。空白行はマーカーを付けず保持。

縦書き・横書き

本文の縦書き／横書きに従います。記号や番号の具体的な字形は読書エンジンにも依存します。

使用上の注意・範囲 開始・終了を独立した行に置き、必ず同じ種類で閉じます。範囲の入れ子、空本文、閉じ忘れ、見出し範囲内は未対応。章・改ページ・配置・見出し・注定義等の構造境界をまたぎません。不正範囲は開始位置の診断と元の注記を残します。内部の文字装飾は範囲内で釣り合うように閉じてください。 一段だけに対応。番号付きは範囲ごとに1から始まり、開始番号の変更はできません。空白行は番号を進めません。ルビ・装飾・画像外字・注参照・リンクは項目内で使えます。 SoraEPUB独自拡張。原稿に入力済みの「・」や「1.」は自動で消さず本文として残します。項目内の複数段落や番号書式の指定はできません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［＃ここから箇条書き］
項目一
項目二
［＃ここで箇条書き終わり］
```

関連：番号付きリスト ／ 表（先頭行が見出し）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline_scopes.rs:109

リスト・表

127 / list-ordered

番号付きリスト

一行を一項目とする番号順の一覧を作ります。

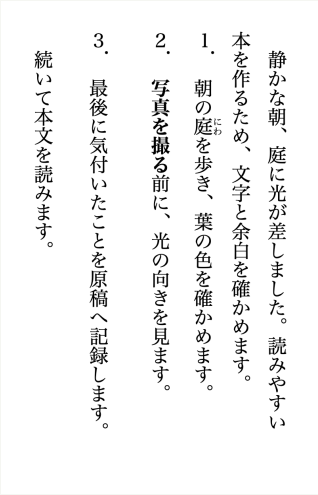
入力例

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃ここから番号付きリスト］
朝の｜庭《にわ》を歩き、葉の色を確かめます。
［＃太字］写真を撮る［＃太字終わり］前に、光の向きを見ます。

最後に気付いたことを原稿へ記録します。
［＃ここで番号付きリスト終わり］
続いて本文を読みます。
```

入力構文

```
［＃ここから番号付きリスト］
項目の1行目
項目の2行目
［＃ここで番号付きリスト終わり］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

ol内のli。通常段落の1em字下げを付けず、折り返しは項目本文にそろえます。空白行はマーカーを付けず保持。 自動番号はspan.auto-number。縦書きの1〜3桁は縦中横、4桁以上は各桁正立。番号の右下に全角の正立ピリオド「．」を添えます。

縦書き・横書き

本文の縦書き／横書きに従います。縦書きの自動番号は1〜3桁を縦中横、4桁以上を各桁正立で表示。横書き部分は通常の横書き。原稿に手入力した数字は自動変換しません。

使用上の注意・範囲 開始・終了を独立した行に置き、必ず同じ種類で閉じます。範囲の入れ子、空本文、閉じ忘れ、見出し範囲内は未対応。章・改ページ・配置・見出し・注定義等の構造境界をまたぎません。不正範囲は開始位置の診断と元の注記を残します。内部の文字装飾は範囲内で釣り合うように閉じてください。 一段だけに対応。番号付きは範囲ごとに1から始まり、開始番号の変更はできません。空白行は番号を進めません。ルビ・装飾・画像外字・注参照・リンクは項目内で使えます。 SoraEPUB独自拡張。原稿に入力済みの「・」や「1.」は自動で消さず本文として残します。項目内の複数段落や番号書式の指定はできません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（3例）

```
［＃ここから番号付きリスト］
項目一
項目二
［＃ここで番号付きリスト終わり］
```

100項目の連続採番を実コアで検証。入力全文はHTML版の別形式欄と検証一覧に掲載しています。

1000項目の連続採番を実コアで検証。入力全文はHTML版の別形式欄と検証一覧に掲載しています。

関連：箇条書き ／ 表（先頭行が見出し）

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline_scopes.rs:109

リスト・表

131 / table-simple

表（見出し行なし）

タブ区切りの原稿から、罫線のある簡単な表を作ります。

入力例

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃ここから表］
場所　観察
朝の｜庭《にわ》　［＃太字］木陰［＃太字終わり］の色を確かめます
夕方の庭
［＃ここで表終わり］
表のあとも縦書きで本文を読みます。
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

入力構文

```
［＃ここから表］
セル1<TAB>セル2
セル3<TAB>セル4
［＃ここで表終わり］（<TAB>を実タブに置換）
```



実EPUBの横組み表（拡大）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

Table／TableRowからtable、tr、tbody内のtdへ。セルは横組み・折り返し可。空セルを保持。 列は等幅、標準幅32emを表示幅内に収めます。見出しセルはscope=col。

縦書き・横書き

本が縦書きでも表は横組み。表の前後の本文は本の設定に従います。

使用上の注意・範囲 開始・終了を独立した行に置き、必ず同じ種類で閉じます。範囲の入れ子、空本文、閉じ忘れ、見出し範囲内は未対応。章・改ページ・配置・見出し・注定義等の構造境界をまたぎません。不正範囲は開始位置の診断と元の注記を残します。内部の文字装飾は範囲内で釣り合うように閉じてください。 各行の列数をそろえます。セル区切りは実際のタブ（U+0009）、行区切りは改行。セル結合・セル内改行・表内表は不可。少なくとも一つの空でないセルが必要です。 セル内のルビ・装飾・画像外字・注参照・リンクは使えますが、装飾を隣セルへ持ち越しません。表の途中でアプリの章・プレビューを分割しません。大きな表が読書端末の一画面に収まる保証はありません。 SoraEPUB独自拡張。1列の表も可。空行も列数をそろえるタブを省略しません。任意の列幅や行見出しの指定はできません。タブ自体をセル内に残すエスケープやCSV引用規則はありません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［＃ここから表］
項目　内容
例　説明
［＃ここで表終わり］
```

関連：表（先頭行が見出し） ／ 箇条書き

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline_scopes.rs:109

リスト・表

132 / table-header

表（先頭行が見出し）

タブ区切りの原稿から、罫線のある簡単な表を作ります。

入力例

```
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
［＃ここから表、先頭行は見出し］
場所　観察
朝の｜庭《にわ》　［＃太字］木陰［＃太字終わり］の色を確かめます
夕方の庭
［＃ここで表終わり］
表のあとも縦書きで本文を読みます。
```

入力構文

```
［＃ここから表、先頭行は見出し］
セル1<TAB>セル2
セル3<TAB>セル4
［＃ここで表終わり］（<TAB>を実タブに置換）
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

場所	観察
朝の庭（にわ）	木陰の色を確かめます
夕方の庭	

実EPUBの横組み表（拡大）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

Table／TableRowからtable、tr、thead内のthとtbody内のtdへ。セルは横組み・折り返し可。空セルを保持。 列は等幅、標準幅32emを表示幅内に収めます。見出しセルはscope=col。

縦書き・横書き

本が縦書きでも表は横組み。表の前後の本文は本の設定に従います。

使用上の注意・範囲 開始・終了を独立した行に置き、必ず同じ種類で閉じます。範囲の入れ子、空本文、閉じ忘れ、見出し範囲内は未対応。章・改ページ・配置・見出し・注定義等の構造境界をまたぎません。不正範囲は開始位置の診断と元の注記を残します。内部の文字装飾は範囲内で釣り合うように閉じてください。 各行の列数をそろえます。セル区切りは実際のタブ（U+0009）、行区切りは改行。セル結合・セル内改行・表内表は不可。見出し行と少なくとも1行の空でない本文が必要です。 セル内のルビ・装飾・画像外字・注参照・リンクは使えますが、装飾を隣セルへ持ち越しません。表の途中でアプリの章・プレビューを分割しません。大きな表が読書端末の一画面に収まる保証はありません。 SoraEPUB独自拡張。1列の表も可。空行も列数をそろえるタブを省略しません。任意の列幅や行見出しの指定はできません。タブ自体をセル内に残すエスケープやCSV引用規則はありません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［#ここから表、先頭行は見出し］
項目　内容
例 説明
［#ここで表終わり］
```

関連：表（見出し行なし） ／ 箇条書き

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　parser/inline_scopes.rs:109

リンク・参照

128 / reference-target

参照先

本の中の任意の場所へ参照用の目印を置きます。

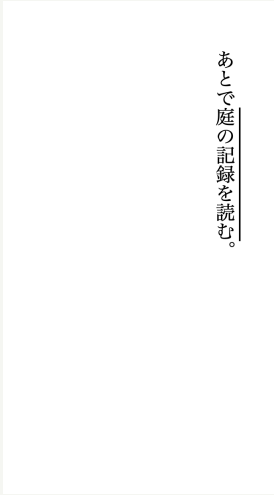
入力例

```
［＃章：案内］
あとで［＃参照（garden）：庭の記録を読む］。
［＃章：記録］
［＃参照先：garden］
庭の記録［＃中見出し］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

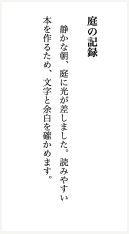
入力構文

```
［＃参照先：ID］（独立行）
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



参照リンクをクリックした移動先（実EPUB）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

ReferenceTargetから不可視のアンカーを出力。章・大見出し・画像によるXHTML分割後もリンク先を調整します。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 IDはASCII英数字・_・-の1〜64バイトで本全体で一意。参照先は単独行に置きます。未定義・重複IDや不正リンクは原文と診断を残します。リンクの表示名は1行の非空文字列で、制御文字・[ ]《 》｜は使えません。表示名はルビ等として再解析しません。ルビ・割り注・同行／窓見出しとの重なり、注参照・別リンクとの重なり、装飾境界をまたぐリンクは不可。 アンカー自体に文字や見出しを表示する効果はありません。 SoraEPUB独自拡張。参照先IDは注のIDとは別の名前空間です。参照先は通常の独立行に置き、見出し・キャプション・リスト・表・注本文・継続中の文字装飾の内部には置けません。リンクは本文・通常見出し・キャプション・リスト・表セルに使えますが、注本文には使いません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

［＃参照先：point_1-2］
目印のある本文です。

関連：本の中への参照 ／ 章・節・項

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　links.rs:139

リンク・参照

129 / link-internal

本の中への参照

表示名から同じ本の参照先へ移動します。

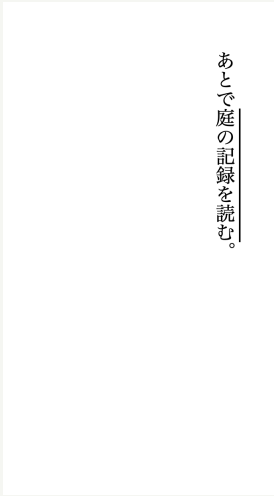
入力例

［＃章：案内］
あとで［＃参照（garden）：庭の記録を読む］。
［＃章：記録］
［＃参照先：garden］
庭の記録［＃中見出し］
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。

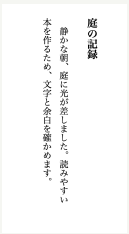
入力構文

［＃参照（ID）：表示名］

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大



参照リンクをクリックした移動先（実EPUB）／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

a.cross-referenceのhrefへ、参照先を含むXHTMLファイル名とアンカーIDを指定。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 IDはASCII英数字・_・-の1〜64バイトで本全体で一意。参照先は単独行に置きます。未定義・重複IDや不正リンクは原文と診断を残します。リンクの表示名は1行の非空文字列で、制御文字・[ ]《 》 | は使えません。表示名はルビ等として再解析しません。ルビ・割り注・同行／窓見出しとの重なり、注参照・別リンクとの重なり、装飾境界をまたぐリンクは不可。 参照の順序は前後どちらでも可。プレビューでクリックすると該当ページのアンカーへ移動します。 SoraEPUB独自拡張。参照先IDは注のIDとは別の名前空間です。参照先は通常の独立行に置き、見出し・キャプション・リスト・表・注本文・継続中の文字装飾の内部には置けません。リンクは本文・通常見出し・キャプション・リスト・表セルに使えますが、注本文には使いません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

```
［＃参照先：p1］
本文の［＃参照（p1）：この場所］へ戻ります。
```

関連：参照先 ／ 外部リンク ／ 注参照・再参照

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　links.rs:139

リンク・参照

130 / link-external

外部リンク

HTTP(S)のページへ移動するリンクを作ります。

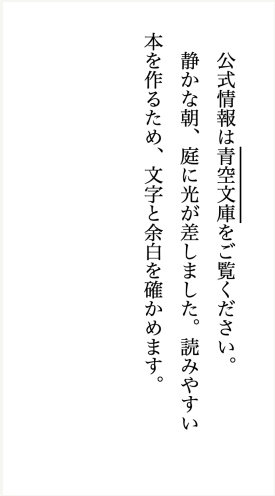
入力例

```
公式情報は［＃外部リンク（https://www.aozora.gr.jp/）：青空文庫］をご覧ください。
静かな朝、庭に光が差しました。読みやすい本を作るため、文字と余白を確かめます。
```

入力構文

```
［＃外部リンク（https://example.com/）：表示名］
```

EPUBでの表示



実EPUBのXHTML＋CSSを描画。縦書き本文。／クリックで拡大

XHTML / CSSへの変換

a.external-linkへ安全性を確認したURLをhrefとして出力。変換時に通信や素材取得はしません。

縦書き・横書き

縦書きは右から左へ列を進めます。横書きでは通常の左から右の行に同じ内容を組みます。

使用上の注意・範囲 IDはASCII英数字・_・-の1〜64バイトで本全体で一意。参照先は単独行に置きます。未定義・重複IDや不正リンクは原文と診断を残します。リンクの表示名は1行の非空文字列で、制御文字・[ ]《 》｜は使えません。表示名はルビ等として再解析しません。ルビ・割り注・同行／窓見出しとの重なり、注参照・別リンクとの重なり、装飾境界をまたぐリンクは不可。URLは小文字のhttp://またはhttps://で始まるASCII文字列8192バイト以内。認証情報・空白・制御文字や不正な%表記は不可。日本語URLは適切にASCII符号化してください。mailto:、javascript:、相対URLは不可。ホスト名やIPv6、ポートも検証します。アプリのプレビューではOSの標準ブラウザへ渡す実装です。閲覧には通信環境が必要です。 SoraEPUB独自拡張。参照先IDは注のIDとは別の名前空間です。参照先は通常の独立行に置き、見出し・キャプション・リスト・表・注本文・継続中の文字装飾の内部には置けません。リンクは本文・通常見出し・キャプション・リスト・表セルに使えますが、注本文には使いません。

▼ 対応する別形式・別名・パラメータ例（1例）

［＃外部リンク（http://example.com:8080/path?q=1&x=2#part）：参考資料］を確認します。

関連：本の中への参照

入力原稿　実生成EPUB　実装・検証記録　links.rs:139

アクセント分解 全114対応

左の分解コードを〔〕で囲んで入力します。例：〔E'tude〕 → Étude。未掲載の綴りをUnicode正規化で推測する機能はありません。各対応は個別の原稿で検証済みです。

ae& → æ	AE& → Æ	oe& → œ	OE& → Œ	a` → à	a' → á
a^ → â	a~ → ã	a: → ä	a& → å	a_ → ā	c, → ç
c' → ć	c^ → ĉ	d/ → đ	e` → è	e' → é	e^ → ê
e: → ë	e_ → ē	e~ → ẽ	g^ → ĝ	h^ → ĥ	h/ → ħ
i` → ì	i' → í	i^ → î	i: → ï	i_ → ī	i/ → ɨ
i~ → ĩ	j^ → ĵ	l/ → ł	l' → ĺ	m' → ḿ	n` → ǹ
n~ → ñ	n' → ń	o` → ò	o' → ó	o^ → ô	o~ → õ
o: → ö	o/ → ø	o_ → ō	r' → ŕ	s' → ś	s, → ş
s^ → ŝ	t, → ţ	u` → ù	u' → ú	u^ → û	u: → ü
u_ → ū	u& → ů	u~ → ũ	y' → ý	y: → ÿ	z' → ź
A` → À	A' → Á	A^ → Â	A~ → Ã	A: → Ä	A& → Å
A_ → Ā	C, → Ç	C' → Ć	C^ → Ĉ	D/ → Đ	E` → È
E' → É	E^ → Ê	E: → Ë	E_ → Ē	E~ → Ẽ	G^ → Ĝ
H^ → Ĥ	I` → Ì	I' → Í	I^ → Î	I: → Ï	I_ → Ī
I~ → Ĩ	J^ → Ĵ	L/ → Ł	L' → Ĺ	M' → Ḿ	N` → Ǹ
N~ → Ñ	N' → Ń	O` → Ò	O' → Ó	O^ → Ô	O~ → Õ
O: → Ö	O/ → Ø	O_ → Ō	R' → Ŕ	S' → Ś	S, → Ş
S^ → Ŝ	T, → Ţ	U` → Ù	U' → Ú	U^ → Û	U: → Ü
U_ → Ū	U& → Ů	U~ → Ũ	Y' → Ý	Z' → Ź	s& → ß

JIS面区点を探す

実装に同梱される固定表の11,233位置を検索できます。面-区-点、または文字を入力してください。最大40件を表示します。字形がこの環境のフォントにない場合も、コードと変換文字列は確認できます。

印刷版では検索は使用できません。全対応データは同梱のVerification/jis-mapping.jsonを参照してください。JIS表全位置の照合は既存Rustテストでも実施しています。

面1は第3水準、面2は第4水準の接頭辞付き形式も受理します。区点だけの曖昧な指定や、説明からの字形推測は行いません。

未対応・原文保持・フォールバック

次の記述は「対応注記」の収録項目とは分けています。未知の注記は原則として本文へ残り、診断で知らせます。診断があってもEPUBを出力できる場合があるため、問題一覧を必ず確認してください。

入力・状態	現行の扱い
［＃改段］、段組み、結合セル等の複雑な表	改段は未対応として原文保持・診断。通常改ページへ読み替えません。0.9.0のタブ区切りの単純な表は別項で対応。セル結合・セル内改行には対応しません。
説明だけの外字・未収録JIS・除外Unicode	推測せず原文保持・診断。明示コードまたは独自画像外字を用います。
開始／終了型ルビの改行・入れ子	不正・未対応の対として原文を保持します。
割り注の入れ子・ルビとの交差	小文字の通常表示へ切替え、診断します。
同行・窓見出しの複雑な重複	通常の太字表示へ切替え、診断します。
画像が不足	本文プレビューは続けられる場合がありますが、EPUB書き出しは停止します。
注内の画像・配置・章・見出し・注参照	定義の原文を残し、注としては採用しません。
7段階以上の文字サイズ、数値不正	未対応・不正の注記として原文を残します。
書誌のタイトル等を原稿から自動推定	行頭を書名・作者・底本として自動解釈しません。書誌画面で設定します。

「複合ルビ」は本書では同じ親文字への両側ルビや複数語のルビ併用として説明しています。親文字の中へさらにルビの付いた親文字を入れる多段ルビ全般の対応を意味しません。

出典・描画環境と確認範囲

内容はソースを優先し、README、GUI_GUIDE.md、ANNOTATION_REFERENCE.mdとテストを照合しました。青空文庫公式資料は構文の背景を確認するために参照し、SoraEPUBの対応表の代わりにはしていません。説明とサンプル原稿は本書用に作成しています。

- 青空文庫 注記一覧：分類と標準記法を確認。
- 青空文庫作業マニュアル 入力編：原稿の基本形式を確認。
- 注記一覧 強調、見出し、その他：形状・前方参照・校訂を照合。
- 画像とキャプション：複数行キャプションの公式構文も照合（2026年11月28日）。
- 外字、注記の重複、アクセント分解表：外字・読み・対象範囲の背景。変換表そのものは実装を優先。

表示例はmacOS上のChrome。本文の出力CSSは日本語明朝（Noto Serif CJK JP、Hiragino Mincho ProN、serifの順）を優先し、実際の字形は使用環境に依存します。図版は2倍解像度のPNGで保存し、HTMLに同梱しました。表には横組み部分の拡大図も併載しています。縦組み表示例の元EPUBに手書きCSSを差し込んで装飾を模倣する処理は行っていません。閲覧領域と文字サイズの設定、および撮影余白のトリミングのみ追加しています。ページの左右中央・改ページの比較は、実XHTMLを共有プレビューの区切り処理で分けて描画しています。

ネイティブWebView、Windows／Linux、実際のEPUB読書アプリでの表示は今回未検証です。Chromeで描けるCSSがすべての読書アプリで同じになるとは限りません。検証一覧に実行結果・既存資料との差異・未確認範囲を記録しています。

SoraEPUB 現行実装に基づく制作ガイド。外部通信なしで本文・検索・図版を閲覧できます。外部出典リンクだけは接続が必要です。
画面・組版の確認環境と未検証範囲は、巻末および検証一覧に明記しています。